令和６年度事業報告書

社会福祉法人
四日市市社会福祉協議会

目次

総括 3
特徴的な取り組み 4
１　社会福祉事業 7
１－１　法人運営拠点区分 7
１－１－１　法人運営事業 7
１－１－２　共同募金配分金事業 13
１－１－３　資金貸付事業 14
１－２　地域福祉拠点区分 15
１－２－４　四日市日常生活自立支援センター運営事業 15
１－２－５　母子・父子福祉センター運営事業 17
１－３　障害福祉拠点区分 19
１－３－６　障害者福祉センター運営事業 19
１－３－７　障害者自立生活支援センターかがやき運営事業 23
１－３－８　特定相談事業 27
１－３－９　共栄作業所管理運営事業（就労継続支援Ｂ型事業） 28
１－３－１０　たんぽぽ管理運営事業（生活介護事業） 31
１－３－１１　あさけワークス管理運営事業（就労継続支援Ｂ型事業） 34
１－４　高齢福祉拠点区分 37
１－４－１２　ホームヘルプサービス事業 37
１－４－１３　通所デイサービス事業 39
１－４－１４　くす在宅介護支援センター運営事業 42
２　公益事業 46
２－１　法人運営拠点区分 46
２－１－１５　市民啓発事業 46
２－１－１６　社会福祉団体補助金交付事業 49
２－１－１７　生活福祉資金運営事業 49
２－１－１８　生活困窮者自立支援事業 51
２－２　地域福祉拠点区分 54
２－２－１９　ふれあいのまちづくり事業 54
２－２－２０　福祉ボランティアのまちづくり事業 63
２－２－２１　成年後見サポート事業 73
２－２－２２　おもちゃ図書館運営事業 76
２－２－２３　生活支援コーディネーター事業 77
２－２－２４　ふれあいいきいきサロン推進事業 78
２－２－２５　介護予防等拠点施設管理運営事業 80
２－２－２６　食品ロスマッチング事業 81
２－３　障害福祉拠点区分 83
２－３－２７　視覚障害者福祉センター運営事業 83

２－３－２８　障害者就業・生活支援センタープラウ運営事業 84
２－３－２９　ワークセンター運営事業 86
２－４　高齢福祉拠点区分 87
２－４－３０　中地域包括支援センター　包括支援事業 87
２－４－３１　中地域包括支援センター　介護予防推進事業 89
２－４－３２　中地域包括支援センター　認知症地域支援事業 90
２－４－３３　中地域包括支援センター　認知症初期集中事業 93
２－４－３４　介護予防支援事業 94
２－４－３５　居宅介護支援事業（ゆりかもめ） 95
２－４－３６　介護保険認定調査事業 96
３　収益事業 97
３－１　収益事業拠点区分 97
３－１－３７　喫茶ふれあい運営事業 97
３－１－３８　総合会館売店運営事業 98

総括

少子高齢化、核家族化等の社会構造の変化は、高齢者世帯の増加、介護や生活支援のニーズの増加につながり、また、地域社会の結びつきが希薄化する中、社会的に孤立する世帯が増加しました。

賃金の上昇等、労働者の生活水準が向上する一方で、物価高騰等により、生活改善に至らず困窮状態が継続している世帯への支援も引き続き必要となっています。

地域住民が抱える多様化、複雑化した福祉課題解決にむけて、地域や就労、生活、介護、教育に関わる関係機関が連携した包括的な取り組みが求められています。

また、激甚化・頻発化している地震や風水害等についても、行政や地域住民と連携した、大規模災害時へ備える取り組みがより必要となっています。

「第６次四日市市地域福祉活動計画」の最終年であった令和６年度は、これまでの事業を検証したうえで第７次計画の策定を進めるとともに、多様化、複雑化した福祉課題に対応できる重層的、包括的な取り組みや、人手・予算の制限がある中で四社協事業の持続可能な運営を図るため、介護保険事業をはじめとした事業の見直し、組織体制づくり、ＩＣＴを活用した業務の改善等に取り組みました。

特徴的な取り組み

総務課

これまでの事業を検証したうえで「第７次四日市市地域福祉活動計画」の策定を進めるとともに、組織体制づくり、ＩＣＴを活用した業務の改善等に取り組み、四社協事業の安定的な運営に努めました。

１　第７次四日市市地域福祉活動計画の策定　Ｐ９

第６次計画の最終年度であり、これまでの事業検証とともに策定委員会を３回開催し、令和７年度からの第７次計画の策定を進めました。

２　人材確保と育成　Ｐ９～１０

安定的な事業運営を図るため、職員採用試験を実施し、専門職、福祉職の人材確保に努めました。事業の多様化に伴い各種研修を実施するとともに、奨励金制度を拡充し資格取得を勧めました。

３　システム化の推進　Ｐ１０

労務管理に伴う事務作業や時間外勤務の削減を目指し、勤怠管理システムの本格導入を進めました。

４　生活困窮者支援　Ｐ５１～５３

諸々の事情により経済的に困窮されている方に対し、関係機関との連携のもと、一人ひとりの状況に応じた支援を実施しました。

地域福祉課

「第６次四日市市地域福祉活動計画」に基づき、以下の重点取組項目等により、四社協の強みを生かした「つなげるからつながるへ」を目標として、地域づくりに取り組みました。

１　ふれあいのまちづくり事業の推進　Ｐ５４～６２

コミュニティソーシャルワーカー等を配置し、個別の処遇困難事例等から福祉課題の調査・研究を行い、多様化、複雑化した地域課題に対応できる仕組みの構築を進めました。また、地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会等の地域福祉活動団体と協働で地域福祉の推進に取り組みました。地域福祉活動団体においては、高齢化、担い手不足から活動の継続に課題も生じており、解決に向けた取り組みが必要になってきています。

２　福祉ボランティアのまちづくり事業の推進　Ｐ６３～７２

ボランティアの活動支援と併せ、情報発信や活動機会の提供等広く啓発を図るとともに、関係団体や企業、学校等とのつながりを作り、それぞれの強みをいかした福祉活動や地域活動への参画を促していけるよう地域拠点でのボランティア講座等に取り組みました。ボランティアのきっかけづくり事業として、「はじめてのボランティア説明会」に多くの方に参加していただけるよう、毎月３回、平日午前、平日夜間、休日午後に開催日時を設定して取り組みました。「サマーチャレンジ」は、夏休みの期間、学生を対象にボランティア体験に参加できる機会を提供しました。

３　成年後見サポート事業の促進　Ｐ７３～７５

市の中核機関として成年後見サポートセンターを設置し、成年後見制度の広報啓発、相談対応、成年後見人等が選任されるまでの支援の実施とともに、専門職等の受任が難しい方を、法人受任の特性を活かし法人で後見人等を受任しセーフティネットとしての役割を担いました。また、日常生活自立支援事業から判断能力が低下し成年後見制度の利用が必要な事案については、連携した取り組みができるように事業を推進しました。

４　ふれあいいきいきサロン推進事業の促進　Ｐ７８～８０

各地区のふれあいいきいきサロンの活動状況を把握し、サロン活動が継続できるようサロン連絡会の実施と活動者がサロン活動を継続するモチベーションや目的を共有できるよう専門ゼミナールの受講の案内等、活動するリーダーの養成に努めました。

５　三重県社会福祉協議会、市からの受託事業また指定管理施設の運営　Ｐ１５～１８、７６、８０～８２

「四日市日常生活自立支援センター」は判断能力が不十分な認知症高齢者・知的障害者・精神障害者に対し、福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理、書類等の預かり等の支援を適正に行いました。「母子・父子福祉センター」「おもちゃ図書館」「介護予防等拠点施設管理運営事業」「食品ロスマッチング事業」についても適正な運営に努めました。

福祉支援課

「第６次四日市市地域福祉活動計画」の基本理念である「安心して暮らしつづけることができる『福祉のまちづくり』」の実現を目指し、障害関連事業・施設８箇所（障害者福祉センター、かがやき、共栄作業所、たんぽぽ、あさけワークス、視覚障害者福祉センター、プラウ、ワークセンター）、高齢・介護保険関連事業所５箇所（訪問介護事業所、通所介護事業所ゆりかもめ、くす在宅介護支援センター、中地域包括支援センター、居宅介護支援事業所ゆりかもめ）について、利用者本位のサービス提供と地域に根ざした運営を行いました。

１　指定管理施設の受託　Ｐ１９～２２、２８～３６

障害者福祉センター、共栄作業所、たんぽぽ、あさけワークスの４施設について令和６年度から指定管理を受け、公の施設として適正な運営を行いました。

２　障害者自立支援・就業支援　Ｐ２３～２７、８３～８６

障害者自立生活支援センター、障害者就業・生活支援センター等の運営を通じて、障害者が自立した日常生活、社会生活を送れるよう、常に利用者の立場に立って総合的な生活支援、就業支援を行いました。

３　地域の身近な相談窓口　Ｐ４２～４５、８７～８８

地域包括支援センター、在宅介護支援センターの運営を通じて、高齢者等が住み慣れた地域で安心して尊厳あるその人らしい生活を継続できるよう包括的・継続的な相談支援を行いました。

４　介護保険関連事業　Ｐ３７～４１、８９～９５

介護保険法等に基づき、訪問介護事業、通所介護事業、介護予防支援事業、居宅介護支援事業を通じた福祉サービスを提供し、利用者の生活の質の向上を図りました。

１　社会福祉事業

１－１　法人運営拠点区分

１－１－１　法人運営事業

担当課：総務課

まとめ(事業の総括)	理事会、評議員会等を開催し、定款の改正や予算策定など法人全体の運営方針を決定しました。 求人媒体を活用して正規職員を採用するとともに、新規採用職員研修をはじめ、県社協等が行う研修に積極的に参加し、職員のスキルアップを図りました。 システム化推進の一環として、労務管理事務削減に向けて勤怠管理システムの本格導入を進めました。
決算額	１６３，７９３，１４４円
主な財源	市補助金、寄付金、自主財源

１．役員等による会議

	項目	内容
1	理事会	・業務執行に関する意思決定機関として開催 日　　時　令和 6 年 4 月 1 日（決議があったとみなされた日） 議　　案　1. 常務理事の選定について 日　　時　令和 6 年 5 月 27 日（決議があったとみなされた日） 議　　案　1. 福祉サービス相談窓口第三者委員の選定について 日　　時　令和 6 年 6 月 6 日　午後 2 時～3 時 20 分 場　　所　市総合会館 4 階　会議室 議　　案　1. 定款の一部変更について 2. 理事の一部変更について 3. 評議員候補者の推薦について 4. 評議員選任・解任委員会の招集について 5. 令和 5 年度事業報告及び収支決算報告について 6. 令和 5 年度監査結果報告について

		7. 定時評議員会の招集について 8. 各種規程の一部改正について
		日　　時　令和6年7月5日（決議があったとみなされた日） 議　　案　1. 副会長の選定について
		日　　時　令和6年8月22日　午後2時～2時30分 場　　所　市総合会館4階　会議室 議　　案　1. 評議員候補者の推薦について 2. 評議員選任・解任委員会の招集について 3. 四日市市社会福祉大会における福祉功労者の表彰について
		日　　時　令和7年3月13日　午後2時～3時10分 議　　案　1. 理事の一部変更について 2. 各種規程の一部改正について 3. 令和6年度収支補正予算について 4. 令和7年度事業計画及び収支予算について 5. 令和7年度資産運用管理方針について 6. 評議員会の招集について
		日　　時　令和7年4月1日（決議があったとみなされた日） 議　　案　1. 理事の一部変更について 2. 評議員会の開催について
2	評議員会	・重要事項の議決機関として開催
		日　　時　令和6年4月1日（決議があったとみなされた日） 議　　案　1. 理事の一部変更について
		日　　時　令和6年6月21日　午前10時30分～11時30分 場　　所　四日市商工会議所　会議所ホールⅡ 議　　案　1. 定款の一部変更について 2. 理事の一部変更について 3. 令和5年度事業報告及び収支決算報告について 4. 令和5年度監査結果報告について
		日　　時　令和7年3月21日　午前10時～11時20分 場　　所　四日市商工会議所　会議所ホールⅡ 議　　案　1. 理事の一部変更について 2. 令和6年度収支補正予算について 3. 令和7年度事業計画及び収支予算について
3	評議員選任・解任委員会	・理事会から推薦された候補者の選任及び解任を協議

		日　　時　令和 6 年 6 月 6 日　午後 3 時 30 分～3 時 45 分 場　　所　市総合会館 4 階　会議室 議　　案　1. 評議員の選任について 日　　時　令和 6 年 8 月 22 日　午後 3 時 30 分～3 時 40 分 場　　所　市総合会館 4 階　会議室 議　　案　1. 評議員の選任について
4	監査	・前年度の事業報告、決算の監査 日　　時　令和 6 年 5 月 22 日　午後 2 時～3 時 場　　所　市総合会館 3 階　社会適応訓練室 監査内容　令和 5 年度　事業報告及び収支決算について

２．四日市市地域福祉活動計画の推進

	項目	内容
1	第６次四日市市地域福祉活動計画の推進	・計画期間：令和２～６年度 ・地域住民や関係機関、行政等との連携による推進
2	第７次四日市市地域福祉活動計画の策定	・計画期間：令和７～１１年度 ・職員からなる検討部会・外部委員からなる策定委員会による計画策定

３．人材育成

	項目	内容
1	研修	市や県社協等が主催する派遣研修に１０１回、延べ１３８人を派遣しました。また、虐待防止委員会研修、新規採用職員研修、各職場研修を実施しました。座学の研修の一部については、自席で受講できるよう、Ｗｅｂ会議サービスや録画配信により実施しました。

実施日	内容	講師
令和 6 年 12 月 19 日	虐待防止委員会及び身体拘束等の適正化委員会研修 「障害者の虐待防止とその対応に関する法の理解」	南新町法律事務所 弁護士　伊藤　正朗氏

４．人材確保・定着支援

	項目	内容
1	職員採用	・安定した法人運営のため、職員採用計画の検討 ・必要な人材確保のため、各種媒体の活用
2	定着支援	・資格更新にかかる費用の補助 ・奨励金制度による資格取得の奨励

５．ＢＣＰ（事業継続計画）の推進

	項目	内容
1	ＢＣＰ委員会	有事の際に職員の迅速な安否確認ができるように、グループウェアの安否確認機能を私物端末で活用可能であることの周知を図り、年間１２回訓練を行いました。

６．システム化の推進

	項目	内容
1	システム化推進プロジェクト	・四社協全体の包括的な情報管理体制構築にむけたシステム化の検討（勤怠管理システム導入、グループウェア活用） ・新型コロナウイルス感染症の影響により急速に進んだデジタル化による、新たな業務形態やサービス提供に対応できるＩＣＴ環境の整備や、セキュリティ対策に重点的に取り組みました。

７．各種団体の運営支援

	項目	内容
1	各種団体の運営支援	・以下の団体の事務局及び活動の支援 ・三重県共同募金会四日市市共同募金委員会 ・四日市市民生委員児童委員協議会連合会 ・四日市市地区社会福祉協議会連絡協議会 ・四日市市遺族会

８．財源確保

	項目	内容
1	四社協会費	・自治会、企業、四社協役員、行政職員等に依頼 社会福祉協議会会費

年度	会費の種類	一般会員	団体会員	合計
令和 6	会員数 （名）	860	311	―

<table>
<tr><td></td><td></td><td>
<table>
<tr><td></td><td>会費総額
（円）</td><td>983,860</td><td>3,399,465</td><td>4,383,325</td></tr>
<tr><td rowspan="2">令和 5</td><td>会員数
（名）</td><td>864</td><td>313</td><td>―</td></tr>
<tr><td>会費総額
（円）</td><td>1,033,070</td><td>3,398,335</td><td>4,431,405</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>2</td><td>寄付</td><td>
・社会福祉事業への寄付・物品の寄贈
現金
<table>
<tr><td>年度</td><td>福祉事業全般への寄付（善意の基金へ積立）総額（円）</td><td>指定する事業への寄付総額（円）</td><td>合計（円）</td></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>1,770,340</td><td>596,640</td><td>2,366,980</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>15,322,736</td><td>1,518,055</td><td>16,840,791</td></tr>
</table>
物品寄付
非常食品「白い小箱」・食料品、衛生用品、療養用吸引機、施設内道路標識等
</td></tr>
</table>

９．職員・職場の安全衛生事業

<table>
<tr><td></td><td>項目</td><td>内容</td></tr>
<tr><td>1</td><td>衛生委員会</td><td>
・産業医を含む衛生委員による職員の健康増進についての協議
労働安全衛生法第１８条に基づき、衛生委員会を年３回実施しました。
<table>
<tr><td></td><td>実施日</td><td>内容</td></tr>
<tr><td>第 1 回</td><td>令和 6 年
6 月 14 日</td><td>・令和 6 年度衛生委員会の実施計画について
・産業医講話「食中毒症・熱中症について」</td></tr>
<tr><td>第 2 回</td><td>令和 6 年
9 月 6 日</td><td>・「産業医」中嶋医師による職場巡視の実施
① 職場の安全衛生についてチェックポイント
② 総合会館 4･3 階の事務所他を巡視
・「全国労働衛生週間」の実施に合わせ、10 月 1 日～7 日「ゼロ災活動」を実施し、全職員にワッペンを配布、啓発</td></tr>
<tr><td>第 3 回</td><td>令和 7 年
3 月 14 日</td><td>・産業医講話「職員の健康について」
① 令和 6 年度職員健康診断結果報告
② 新型コロナウイルス感染症定点当たり報告数(全国)推移について
・ストレスチェック結果報告、産業医の講評</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

				・令和７年度「年間安全衛生管理計画」について ・「安全衛生に関する基本方針」及び「年間安全衛生目標・スローガン」の決定	

１０．福祉サービス適正実施

	項目	内容
1	福祉サービス適正実施	・四社協が実施する福祉サービスについて、苦情解決受付者、第三者委員を設置 ・円滑、円満な苦情解決の促進 ・四社協各事業所の信頼や適正性の確保 第三者委員に寄せられた苦情　０件

１１．虐待防止

	項目	内容
1	虐待防止委員会及び 身体拘束等の適正化委員会	・委員会開催 ・虐待防止自己チェックリスト作成 ・虐待防止に関する指針の整備 ・身体拘束等の適正化に関する指針の整備 ・法人及び部署内虐待防止研修の実施 ・他機関開催の虐待防止研修会への参加

１－１－２　共同募金配分金事業

担当課：総務課

自主事業

まとめ(事業の総括)	共同募金配分金を活用し、地域福祉活動を支援しました。
決算額	３２，４２７，７３８円
主な財源	三重県共同募金会からの配分金

１．配分金を活用した取り組み

	項目	内容
	以下の事業に ３２，４２７，７３８円 充当しました。	
1	地域福祉活動支援	・地区社会福祉協議会への助成
2	社会福祉団体補助金交付事業	・市内福祉団体の活動の支援
3	たすけあい見舞金贈呈事業	・市内の寝たきり高齢者や施設の入通所者に見舞金を贈呈
4	福祉ボランティアのまちづくり事業	・四社協が行うボランティアに関わる活動に充当
5	ふれあいのまちづくり事業	・四社協が行う地域福祉活動に関わる活動に充当
6	防災・災害支援	・災害支援や災害ボランティアセンターの研修に係る費用等に充当

参考：四日市市共同募金委員会の取り組み

<table>
<tr><th></th><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>1</td><td>募金活動</td><td>上記の配分金は、三重県共同募金四日市市共同募金委員会が、毎年１０月から３月に下記の募金活動を行い、皆様からお預かりした募金を三重県共同募金会に送金し、配分委員会の決定を経て翌年度に四日市市へ配分されたものです。
① 戸別募金　各自治会に依頼
② 街頭募金　令和６年度は実施しませんでした。
③ 学校募金　市内小学校・中学校・高等学校・大学に依頼
④ 職域募金　福祉団体、市役所等にバッジ募金等を依頼
⑤ 法人募金　市内の企業、商店に依頼
⑥ 災害義援金　災害が発災した際に依頼
<table>
<tr><th>年度</th><th>目標額（円）</th><th>実績額（円）</th><th>達成率（%）</th></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>44,805,400</td><td>35,681,543</td><td>79.64</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>44,977,400</td><td>36,250,224</td><td>80.59</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>2</td><td>役員等による会議</td><td>① 運営委員会　目標額、予算、決算の審議
② 監査　前年度の事業報告、決算の審議</td></tr>
</table>

１－１－３　資金貸付事業

担当課：総務課

自主事業

まとめ(事業の総括)	市担当課と連携して、申請に基づく貸付業務を行いました。昨年度と比べ利用が伸びました。
決算額	８，１０４，６０２円
主な財源	貸付事業原資

１．資金貸付事業の実施

<table>
<tr><th></th><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>1</td><td>福祉金庫貸付</td><td>・生活保護受給世帯で突発的に資金が必要となった場合や、生活保護申請世帯に保護決定までの生活費として貸付しました。
<table>
<tr><th>年度</th><th colspan="2">貸付件数（件）</th><th>総額（円）</th></tr>
<tr><td rowspan="3">令和 6</td><td>生活保護受給世帯</td><td>387</td><td rowspan="3">7,552,500</td></tr>
<tr><td>生活保護申請中世帯</td><td>187</td></tr>
<tr><td>合計</td><td>574</td></tr>
<tr><td rowspan="3">令和 5</td><td>生活保護受給世帯</td><td>363</td><td rowspan="3">6,718,000</td></tr>
<tr><td>生活保護申請中世帯</td><td>152</td></tr>
<tr><td>合計</td><td>515</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>2</td><td>国民健康保険高額医療費資金貸付</td><td>・国民健康保険被保険者が高額療養費を申請した場合に、支給されるまでの間の医療費や生活費として貸付しました。
<table>
<tr><th>年度</th><th>貸付件数（件）</th><th>総額（円）</th></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>12</td><td>120,000</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>5</td><td>61,000</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>3</td><td>介護保険資金貸付</td><td>・認定調査による介護度の決定前にサービスを受けて全額負担となった場合等に貸付しました。
<table>
<tr><th>年度</th><th>貸付件数（件）</th><th>総額（円）</th></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>13</td><td>423,930</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>6</td><td>123,389</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

１－２　地域福祉拠点区分

１－２－４　四日市日常生活自立支援センター運営事業

担当課：地域福祉課

事業所名：四日市日常生活自立支援センター
県受託事業

まとめ(事業の総括)	判断能力が不十分な認知症高齢者・知的障害者・精神障害者等に対し、契約に基づき福祉サービスの利用援助等を行い、地域において自立した生活が送れるよう支援しました。前年度まで相談件数が増加の一途をたどっていたため、その対応として、訪問件数、契約利用者を見直し、入院、施設入所時のサポート事業との連携により業務の効率化を図りました。
決算額	５４，５５４，０４７円
主な財源	県受託金、三重県社会福祉協議会補助金、事業収入、市補助金

１．福祉サービス利用援助

	項目	内容
1	福祉サービス利用援助	・福祉サービスの利用に関する助言及び手続きについての相談援助を実施しました。年度末契約件数が３８８件（在宅２１６件、入所１７２件）、相談件数は８，９５７件（令和５年度は１１，０６６件）でした。

●契約件数（件）

年度	新規契約件数	契約解除件数	年度末契約件数
令和 6	54	59	388
令和 5	53	63	393
前年度比（%）	102	94	99

●契約者の内訳（件）

年度	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他
令和 6	113	87	179	9
令和 5	126	82	175	10
前年度比（%）	90	106	102	90

●相談対象別相談件数（件）

年度	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他
令和 6	2,462	2,913	3,531	51

<table>
<tr><td></td><td></td><td><table><tr><td>令和 5</td><td>2,800</td><td>3,622</td><td>4,628</td><td>16</td></tr><tr><td>前年度比
（%）</td><td>88</td><td>80</td><td>76</td><td>319</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>2</td><td>日常的金銭管理</td><td>・契約者に対して生活支援員が定期的に訪問し、日常生活に必要な預貯金の払い戻し、預け入れ、各種支払いの援助や年金や各種手当等を受け取る手続き、税金・社会保険料・医療費・福祉サービス利用料・家賃等の支払い等の援助を実施しました。<table><tr><td>年度</td><td>支援回数（回）</td></tr><tr><td>令和 6</td><td>8,709</td></tr><tr><td>令和 5</td><td>10,494</td></tr><tr><td>前年度比（%）</td><td>83</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>3</td><td>書類預かりサービス</td><td>・金庫室ならびに三十三銀行貸金庫を契約し通帳・年金証書等の重要書類の預かりを行いました。</td></tr>
</table>

１－２－５　母子・父子福祉センター運営事業

担当課：地域福祉課

事業所名：母子・父子福祉センター

市受託事業（指定管理）　期間：令和６～１０年度

まとめ(事業の総括)	物価高による経済状況の悪化を背景に、ひとり親家庭からの相談が増加傾向でした。相談に対しては関係機関と連携しながら丁寧な対応を行いました。技能習得講座「パソコン教室」では、２名が就労につながる資格を取得することができ、交流事業は親子・ひとり親家庭同士の交流や仲間づくりの機会となりました。引き続き、ひとり親家庭の相談に対応できるよう制度の情報収集に努めていきます。
決算額	９，２６９，９１３円
主な財源	市受託金

１．母子・父子福祉センター運営事業

<table>
<tr><th></th><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>1</td><td>相談援助</td><td>・ひとり親家庭及び寡婦の生活に関わる相談援助を行いました。
・自立支援のための情報提供を行いました。
<table>
<tr><th>年度</th><th>相談援助（件）</th><th>情報提供（件）</th></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>5,037</td><td>126</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>4,514</td><td>118</td></tr>
<tr><td>前年度比（%）</td><td>112</td><td>107</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>2</td><td>技能習得講座</td><td>・自立・就労のための技能を習得できる講座を実施しました。
内容：パソコン教室（定員：５名）
<table>
<tr><th>年度</th><th>参加人数（名）</th><th>回数（回）</th><th>延べ人数（名）</th></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>5</td><td>106</td><td>211</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>5</td><td>104</td><td>248</td></tr>
<tr><td>前年度比（%）</td><td>100</td><td>102</td><td>85</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>3</td><td>交流事業</td><td>・ひとり親家庭の親子のふれあい・ひとり親家庭同士の交流の場の提供のための事業を実施しました。
内容：親子デイキャンプ（定員：親子５組）
<table>
<tr><th>年度</th><th>参加組（組）</th><th>参加人数（名）</th></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>親子 5</td><td>11</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>親子 5</td><td>11</td></tr>
<tr><td>前年度比（%）</td><td>100</td><td>100</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td></td><td>内容：親子飾り巻き寿司教室（定員：親子６組）
<table>
<tr><th>年度</th><th>参加組（組）</th><th>参加人数（名）</th></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>親子 6</td><td>10</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>親子 6</td><td>13</td></tr>
<tr><td>前年度比（%）</td><td>100</td><td>77</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>4</td><td>サークルの支援</td><td>・母子家庭の母・寡婦交流の場である、以下のサークル活動支援を開催しました。
・書道サークル
<table>
<tr><th>年度</th><th>開催回数（回）</th><th>参加延べ人数（名）</th></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>23</td><td>122</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>24</td><td>155</td></tr>
<tr><td>前年度比（%）</td><td>96</td><td>79</td></tr>
</table>
・和裁サークル
<table>
<tr><th>年度</th><th>開催回数（回）</th><th>参加延べ人数（名）</th></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>34</td><td>100</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>28</td><td>71</td></tr>
<tr><td>前年度比（%）</td><td>121</td><td>141</td></tr>
</table>
・編み物サークル
<table>
<tr><th>年度</th><th>開催回数（回）</th><th>参加延べ人数（名）</th></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>24</td><td>144</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>24</td><td>155</td></tr>
<tr><td>前年度比（%）</td><td>100</td><td>93</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>5</td><td>母子寡婦福祉会活動支援</td><td>・母子寡婦福祉会の事務及び行事の支援を行いました。</td></tr>
</table>

１－３　障害福祉拠点区分

１－３－６　障害者福祉センター運営事業

担当課：福祉支援課

事業所名：障害者福祉センター

市受託事業（指定管理）　期間：令和６～１０年度

まとめ(事業の総括)	①障害者が住みなれた地域で自立した生活を送り社会参加を促進するために、機能訓練、教養の向上、社会との交流等の便宜を供与すべく、障害者デイサービス事業等を公正・公平に実施するとともに、併せて障害者福祉関係団体の支援や障害者福祉の啓発等を行いました。 ②市、地域の相談支援事業所、教育、保健、医療等と連携を図り利用者の立場に立ったサービスを提供しました。 ③第５期指定管理期間の初年度ということで期間内に計画した事業を確実に実施するため、各事業の充実や新規事業実施における基盤整備（ニーズ調査・試行）を行いました。
決算額	３３，１３７，５３４円
主な財源	市受託金

１．障害者デイサービス及び障害者の自立・社会参加支援

<table>
<tr><th></th><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>1</td><td>機能訓練</td><td>・言語訓練（個別・社会適応訓練）
【個別訓練】
週１回から月２回、１回３０分～４５分、失語症者及び構音障害者、高次脳機能障害者を対象として言語訓練を実施しました。
【社会適応訓練】
グループ１
利用者と講師、言語聴覚士が日常生活に近い環境での実用的コミュニケーションを意識した活動。
グループ２
利用者と言語聴覚士と職員が入り、会話を中心にした活動。
<table>
<tr><th>事業名</th><th>利用者数（名）</th><th>回数（回）</th><th>延べ利用者数（名）</th></tr>
<tr><td>言語個別訓練</td><td>7</td><td>週 1～月 2</td><td>241</td></tr>
<tr><td>言語社会適応訓練グループ１</td><td>2</td><td>22</td><td>42</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td></td><td>
<table>
<tr><td>言語社会適応
訓練グループ２</td><td>3</td><td>17</td><td>43</td></tr>
</table>
・理学療法
　事故や疾病の後遺症等により、身体機能が低下した在宅の人を対象に機能訓練を実施しました。
<table>
<tr><th>事業名</th><th>利用者数
（名）</th><th>回数（回）</th><th>延べ利用者数
（名）</th></tr>
<tr><td>理学療法</td><td>21</td><td>週１
～月２</td><td>355</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>２</td><td>社会適応訓練</td><td>
・点字教室
　中途視覚障害者を対象に、点字という文字を獲得することにより自分自身で生活に必要な情報を得られるように点字教室を開催しました。
<table>
<tr><th>事業名</th><th>利用者数
（名）</th><th>回数（回）</th><th>延べ利用者数
（名）</th></tr>
<tr><td>点字教室</td><td>7</td><td>21</td><td>94</td></tr>
</table>
・失語症者を対象としたインターネット教室（ｉＰａｄ教室）
【内容】
体験会：ｉＰａｄとは、ｉＰａｄを触ってみましょう
第１回：インターネットとは、スマホとｉＰａｄの違い、ｉＰａｄの構造、操作の基本
第２回：アプリとは、天気や災害に関わるアプリ
第３回：検索の仕方
第４回：ニュースの見方、インターネットで聴くラジオ
第５回：ＹｏｕＴｕｂｅ
第６回：Ｚｏｏｍに接続してみよう、Ｗｉ－Ｆｉとは
第７回：ｉＰａｄ・パソコン・スマホの違い、写真の使い方
第８回：写真の加工の仕方１
第９回：写真の加工の仕方２、写真を送ろう、１年の振り返り
<table>
<tr><th>事業名</th><th>利用者数
（名）</th><th>回数（回）</th><th>延べ利用者数
（名）</th></tr>
<tr><td>iPad 教室</td><td>2</td><td>9</td><td>18</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>３</td><td>創作的活動</td><td>
　社会参加と交流の機会の提供を目的として毎月１回開催しました。「あちこち四日市探訪！」と称し、市の魅力再発見をテーマに地場産業や、文化、工芸等を座学での学びと現地見学や体験を年間通して開催しました。
第１回：「四日市市について・隠れた魅力とは…？」（観光交流課より）
第２回：「四日市市の名産品」（じばさんにて）
</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td></td><td>第３回：「万古焼の絵付け・手彫り体験」（ばんこの里会館にて）
第４回：「プラネタリウム」（四日市市立博物館にて）
第５回：「四日市公害について学ぶ」（四日市市博物館にて）
第６回：「くるべ古代歴史館見学」（くるべ古代歴史館にて）
第７回：「水沢茶の知識・淹れ方講座」（茶業振興センター）
第８回：「中村製作所オープンファクトリー見学」（中村製作所オープンファクトリーにて）
第９回：「醤油蔵の見学」（伊勢蔵にて）
第１０回：「防災について～阪神淡路大震災から３０年～」（防災教育センターにて）
第１１回：「四日市の鯨船行事・まつり」（文化課より）
第１２回：「あちこち四日市探訪の思い出語り会」（障害者センター職員にて進行）
<table>
<tr><th>事業名</th><th>利用者数（名）</th><th>回数（回）</th><th>延べ利用者数（名）</th></tr>
<tr><td>あちこち四日市探訪！</td><td>7</td><td>12</td><td>58</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>4</td><td>失語症会話パートナーとの交流会</td><td>・失語症会話パートナーを利用した会話を楽しむ場として言語聴覚士と職員も参加して実施しました。
<table>
<tr><th>事業名</th><th>回数（回）</th><th>延べ参加者数（失語症者）（名）</th><th>延べ参加者数（会話パートナー）（名）</th></tr>
<tr><td>いちごの会</td><td>24</td><td>87</td><td>94</td></tr>
</table>
・家族交流会を実施し、失語症者の家族の思いを共有する機会を提供しました。
<table>
<tr><th>事業名</th><th>参加者数（名）</th><th>回数（回）</th><th>延べ参加者数（名）</th></tr>
<tr><td>家族交流会</td><td>5</td><td>1</td><td>5</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>5</td><td>更生相談</td><td>・障害者の抱えている課題の解決に向けて、言語聴覚士等の専門職員による相談支援を行うとともに、機能面だけでなく生活全般にかかる相談については障害者自立生活支援センターかがやきをはじめとする相談支援機関を紹介しました。</td></tr>
</table>

２．障害者福祉関係団体の支援

<table>
<tr><th></th><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>1</td><td>障害者福祉関係団体の支援</td><td>・貸館・備品貸出による自主的な活動の場の提供とともに、利用者アンケートやセンター連絡会にて意見を聴取しました。
<table>
<tr><th>登録団体種別</th><th>登録団体数</th></tr>
<tr><td>四日市市身体障害者団体連合会</td><td>6</td></tr>
<tr><td>心身障害者団体連絡協議会</td><td>2</td></tr>
<tr><td>障害児者団体</td><td>25</td></tr>
<tr><td>創作的活動自主サークル</td><td>5</td></tr>
<tr><td>障害福祉関連ボランティア団体</td><td>12</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

３．啓発事業

<table>
<tr><th></th><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>1</td><td>情報発信</td><td>・社協だより「かけはし」の『障害者福祉センターだよりＷＩＴＨ』の常設コーナーで年３回、市民向けに事業の周知等を行いました。</td></tr>
<tr><td>2</td><td>障害者福祉講座</td><td>障害のある人が暮らしやすい環境となるよう、障害者への理解を深めてもらうことと、障害当事者のエンパワメントに繋がることを目的として啓発講座を実施しました。
内　容：『食を通して「心の健康」を考えよう！』
開催日：令和７年１月１１日
場　所：市総合会館８階　視聴覚室
講　師：ハッピー食卓プラネット　小林 浩子氏
参加者：６５名</td></tr>
<tr><td>3</td><td>出前講座</td><td>地域の団体等から依頼を受け、障害理解・啓発のための出前講座を１回実施しました。
内　容：「聴覚障害について」
開催日：令和６年７月８日
場　所：常磐地区市民センター
講　師：ろうあ福祉会　藤田 逸歩氏
依頼者：常磐地区民生員児童委員協議会
参加者：１７名</td></tr>
<tr><td>4</td><td>ボランティアの養成</td><td>・デイサービス事業での関わりを通して、障害者理解を深め、適切な支援ができるよう、ボランティアの受け入れを行いました。</td></tr>
</table>

１－３－７　障害者自立生活支援センターかがやき運営事業

担当課：福祉支援課

事業所名：障害者自立生活支援センターかがやき

市（菰野町、川越町、朝日町）受託事業

まとめ(事業の総括)	①利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて利用者等の選択に基づき、適切な障害福祉サービス等が多様な事業者から総合的かつ効率的に提供されるよう支援を行いました。 ②１市３町、地域の保健、医療・福祉サービス機関と連携を図り、総合的なサービスの提供に努めました。 ③令和６年度から、市町からの障害者相談支援事業に併せて基幹相談支援センター事業を受託しました。 基幹相談支援センター事業として、地域の相談支援体制の構築のため基幹相談支援センター連携会議を毎月開催し、行政も交え相談支援体制の整備（３層構造）を検討しました。自立支援協議会では引き続き生活支援部会の運営、各事業所間の連絡会の開催を行いました。 引き続き一般相談について対応を行う中で、複雑なニーズがあるケースについて専門機関につなぐとともに、他機関とのチーム支援の方向性の検討や支援の役割分担を行いながら対応を行いました。
決算額	２４，２４６，２１２円
主な財源	市町受託金

１．障害者自立生活支援センターかがやき運営事業

	項目	内容
１	市町障害者相談支援事業	日常生活にて障害福祉サービスの利用を希望されている方からの相談を受け、サービス調整等を行いました。新規相談のタイミングから指定特定相談支援事業所との連携を取り、同行してインテーク面接を行う等、スムーズに指定特定相談支援事業所へつなぐことと併せて、相談支援事業所のサービス導入時のサポートもできるように利用者の把握にも努めました。 また、ご自身でサービス等利用計画を作成される場合においては、面談を実施した上で、困りごとに対応できるサービス種別等の紹介から、計画書の書き方のレクチャーも行いました。 サービスの導入時においてはサービス提供事業所の紹介や調整を行い、利用が回り始めるまでの支援を行いました。

<table>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>総合相談を行い、障害福祉サービス等の案内や、特定相談支援事業所へのつなぎを行いました。障害福祉サービスに該当しない場合についても他の制度の内容説明と専門機関へのつなぎ・紹介を行いました。（介護保険、生活支援室等）
<table>
<tr><th>年度</th><th>相談者数（実人数）</th><th>相談件数（件）</th></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>187</td><td>9,896</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>181</td><td>7,525</td></tr>
<tr><td>前年度比(%)</td><td>103</td><td>132</td></tr>
</table>
</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>基幹相談支援センター事業
（新規事業）</td>
<td>・総合的・専門的な相談支援
基幹相談支援センターの実施部門として令和６年度から受託した当センターを含む市内の５事業所で基幹相談支援センター連携会議を開催し、各事業所に寄せられる他の相談支援事業所等からの相談事例を共有し、基幹相談支援センターとしての対応を協議しました。また、５事業所で分担して取り組む業務の内容や方向性の検討、企画調整部門の在り方についても市と協議を重ねました。

・地域の相談支援体制の強化の取組
相談支援専門員従事者初任者研修ならび現任研修の現場実習における講師やファシリテーター、また相談支援事業所連絡会研修会でのファシリテーターを務め、専門員の養成、スキルアップに協力しました。
基幹相談支援センター連携会議主催で地域包括ケアシステムの連携強化に向けて研修会を行いました。
日時：令和７年２月５日　１３：３０～１５：３０
場所：三重県四日市庁舎　大会議室
内容：事例報告と意見交換
参加人数：５８名
事例報告者：四日市市中地域包括支援センター　鈴木氏
対象：指定特定相談支援事業所、障害福祉サービス事業所、在宅介護支援センター、地域包括支援センター、市民団体、ひきこもりや「８０５０問題」に携わる機関等

・地域移行・地域定着の促進の取組
生活支援部会において主たる介護者の急病等の際に緊急対応が必要となる可能性のあるケースにとって、必要となる地域資源の現状を把握するためアンケート調査を行い、地域課題の抽出や今後の支援体制の構築に向け協議しました。</td>
</tr>
</table>

		・権利擁護・虐待の防止 基幹相談支援センター連携会議主催により虐待防止研修会を開催しました。 日時：令和６年９月１８日　１０：００～１２：００ 場所：三重県四日市庁舎　大会議室 内容：講演「障害者虐待防止研修」 講師：四日市中央法律事務所　東氏 参加人数：１０７名 対象：障害福祉サービス事業所、指定特定相談支援事業所等 ・四日市障害保健福祉圏域自立支援協議会の運営（生活支援部会） 生活支援部会のとりまとめと障害福祉サービス事業所連絡会を開催しました。 【生活支援部会】４回／年 （主な内容） ・各連絡会の活動報告。 ・事例検討。 ・研修会等の実施。令和６年８月２８日に実施。 「能登半島地震　被災地支援報告」 講師：桑名市役所保健医療課　主査　小笠原氏 鈴鹿医療科学大学保健衛生学部リハビリテーション学科助教　齋藤氏 「医療観察制度について」 講師：法務省　津保護観察所　社会復帰調整官　荒木氏 【ＧＨ連絡会】７回／年 （主な内容） ・交流会実施に向けた内容の検討。 ・ＧＨ世話人交流会（２回）、サビ管交流会（２回） 【居住系サービス事業所連絡会】４回／年 （主な内容） ・地域連携推進会議、事業継続計画（ＢＣＰ）の取り組み、各事業所の短期入所事業について、地域生活支援拠点に関する意見交換等。 ・リーダー研修会は欠席者多数のため中止となりました。 【通所事業所連絡会】３回／年 （主な内容） ・利用者の仕事、日中活動についての情報交換、意見交換。 ・研修会の実施。令和７年２月２１日に実施。 「そのひとらしい生活が送れるように～疾患を理解した上

		でのかかわり方～」 講師：心の訪問看護ステーションひなが　島本氏 ・水福連携に関する紹介。 ・四日市庁舎での事業所での製作物販売場所の確保について。 【居宅介護事業所連絡会】３回／年 （主な内容） ・災害等非常時アンケートの実施。 ・業務上や利用者からの声の中で課題と感じる点、地域生活支援拠点における居宅介護支援事業所の役割に関する意見交換。

１－３－８　特定相談事業

担当課：福祉支援課

事業所名：障害者自立生活支援センターかがやき

自主事業

まとめ(事業の総括)	①利用者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービス等の利用のための計画相談支援サービスを行いました。 ニーズが複合的で専門的な支援を必要とされる場合については、部署内でケースの共有を行い、専門機関へつなぎ、多面的な支援を行えるよう対応しました。 ②身体障害を理由に日常生活の組み立てや社会参加が困難な人に、福祉サービスの等の利用による立て直しを行いました。 医療機関からの相談ケースやセルフプランから本計画に移行するケースもありました。 ③保健・医療・福祉サービス機関とケース会議を定期的に行いながら総合的な支援を行いました。
決算額	８，０１２，２８４円
主な財源	障害者福祉サービス等事業収入、市町補助金

１．特定相談支援事業

	項目	内容
1	計画相談支援	サービス等利用計画についての相談や作成、モニタリング、担当者会議の開催等のケアマネジメントにより支援を実施しました。様々な関係事業所との連携、調整を行いました。その中で、利用者の生活に付随するその他の課題に対しても相談を受け、しかるべき機関の紹介等にてつなぎ、必要時には同行も行いました。 毎月１回、事業所内での会議を開催し、自立支援協議会等や法人内からの情報の共有、各自の担当ケースに関しての近況報告や対応の方向性検討を行いました。

年度	契約者数（名）	支援件数（件）
令和 6	113	477
令和 5	116	492
前年度比（%）	97	97

１－３－９　共栄作業所管理運営事業（就労継続支援Ｂ型事業）

担当課：福祉支援課

事業所名：障害者自立支援施設共栄作業所

市受託事業（指定管理）　期間：令和６～８年度

まとめ(事業の総括)	開所日数２４３日、延べ利用者数４，３８５名 平均年齢４３．７歳　　男性１４名　女性５名 （Ｒ７．３．３１時点） ①「障害者総合支援法」に規定する施設で、通常の事業所に雇用されることが困難な人に対して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、就労の機会を提供するとともに、生産活動等を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練を行いました。 ②利用者の意志と人権を尊重することを旨とし、作業を通して集団の中で働く喜びを知り、適切な支援のもと豊かな生活経験の場を広め、思いやりのある人間としての心の育成と自立の道を目指す支援を行いました。
決算額	８２，６３８，１９５円
主な財源	市受託金、就労支援事業収入、障害福祉サービス等事業収入

１．就労・生産活動等の機会の提供及び利用者支援

	項目	内容
1	自主製品作業	・共栄の織り作業 （織りの郷プロジェクトとの協働による実施）
2	受注作業	・封筒点字刻印作業 ・廃電線剥離作業 ・リサイクル解体作業 ・物流関連作業 ・農耕関連作業
3	生活支援	・利用者自治会「わたしたちの会」の運営 ・サークル活動（リズムダンス、カラオケ、ドライブ、町へ出よう）
4	社会体験	・社会・事業所見学 令和６年７月１９日 （行先：東海マテリアル、あさけワークス） 参加人数　利用者１８名 ・共栄の織り展示即売会 令和６年１１月１１日　東京築地本願寺 令和７年３月８日　四日市コンビナート 夜景ランフェスティバル

		・納品活動 ・即売会の開催
5	運動・レクリエーション	・散歩 ・余暇活動 ・体操 ・楽鑑賞 ・ミニ運動会 令和６年１１月２日 参加人数　利用者１７名、地域住民２０名 ・クリスマス会（行先：アソビックスあさひ） 令和６年１２月２０日　参加人数　利用者１７名 ・ボランティア交流会 令和７年２月２１日 参加人数　利用者１６名、ボランティア１０名
6	グループホーム担当者会議	・定例グループホーム担当者会議への出席
7	健康管理	・健康診断　年２回実施 ・嘱託医による医療相談　月１回、毎週第３金曜日に実施 ・健康管理（服薬調査）ファイルの更新
8	ケース会議	・支援サービス会議
9	権利擁護	・成年後見制度利用にむけての啓発 ・権利擁護事案への対応

２．地域に根差した活動・施設運営

	項目	内容
1	関係機関との連携	・自立支援協議会通所事業所連絡会への参加 ・給食施設ネットワーク研究会への参加 ・四郷地区人権啓発推進協議会への参加
2	地域交流行事	・四郷社会福祉協議会との交流会（ミニ運動会） ・たんぽぽ合同地域交流行事（腹話術人形劇） 令和７年３月４日　参加人数　利用者１７名
3	施設サービス運営委員会	・地域関係者等を対象とした事業運営に関する意見交換会 令和７年３月２１日実施
4	施設啓発	・施設つうしん「きょうえい」発行　令和７年３月１０日発行

３．危機管理

	項目	内容
1	防災対策	・防災（地震、火災）訓練　年１０回実施 ・ＢＣＰの活用・見直し ・福祉ゾーン合同防災訓練　令和６年１２月１６日

		・緊急用トランシーバー訓練　月１回実施
２	防犯対策	・防犯訓練　年２回実施 ・不審者対応マニュアルの活用 ・夜間・休日は警備会社にセンサー感知方式の警備委託

１－３－１０　たんぽぽ管理運営事業（生活介護事業）

担当課：福祉支援課

事業所名：障害者自立支援施設たんぽぽ

市受託事業（指定管理）　期間：令和６～８年度

まとめ(事業の総括)	開所日数　　２４３日 延べ利用者数　生活介護４，０１８名、日中一時支援　４９名 平均年齢４１．６歳　　男性１１名　女性８名 （Ｒ７．３．３１時点） ①たんぽぽ運営方針に基づき、常時介護を必要とする重度の障害者に対して、利用者一人ひとりに応じた個別支援計画を作成し、身体介護や身体機能の維持向上のために必要な支援を行いました。 ②地域住民との交流や外出等、利用者の社会参加を積極的に行い、地域で豊かな生活が実現できるよう支援しました。
決算額	１３２，７３４，２１８円
主な財源	市受託金、障害福祉サービス等事業収入

１．日中活動の場の提供及び利用者支援

	項目	内容
1	生活活動	・食事、排泄、更衣整容等日常生活上の支援 ・買い物、外出等の社会体験 ・一日外出 令和６年１０月２５日（行先：ＦＵＪＩＨＵＢ　いなべ市） 参加人数　　利用者５名 令和６年１１月１１日、１８日、２７日 （行先：ＦＵＪＩＨＵＢ　いなべ市） 参加人数計　利用者１３名
2	作業活動	・アルミ缶回収 ・缶つぶし ・プルトップ外し ・リサイクル作業
3	自立訓練	・機能訓練 ・歩行訓練 ・日常生活動作・起居動作訓練
4	文化活動	・音楽療法　３６回実施　延べ参加人数　１９０名 ・乗馬療法　１３回実施　延べ参加人数　　４３名 ・アニマルセラピー　２３回実施　延べ参加人数　１０６名 ・創作活動（カード作り、習字、工作等） ・季節行事（節分、ひな祭り、花見、クリスマス会等開催）

5	コミュニケーション支援	・タブレット、絵カード、文字版等の活用による意思表出・自己決定支援
6	在宅支援	・相談支援事業所、サービス事業者、関係機関との連携 ・かかりつけ医との連携
7	健康管理	・嘱託医による医療相談　年１０回実施 ・看護師による健康管理、医療的ケア ・理学療法士等による身体機能訓練（随時）　年２４回実施 ・健康診断　年２回実施
8	権利擁護	・成年後見制度利用にむけての啓発 ・権利擁護事案への対応
9	日中一時支援事業	・四日市市障害者（児）日中一時支援事業実施要綱に基づくサービスの提供

２．地域に根差した活動・施設運営

	項目	内容
1	アルミ缶回収	・アルミ缶回収を通じた地域住民、学校、企業等との交流
2	地域交流行事	・フラダンス交流会 令和６年７月１６日　参加人数　利用者１８名、 地域住民１５名 ・たんぽぽマルシェ 令和６年１０月２２日　参加人数　利用者１７名、 地域住民約９０名 ・四郷保育園交流会 令和６年１１月８日　　参加人数　利用者７名、園児１２名 ・共栄作業所合同地域交流事業（腹話術人形劇） 令和７年３月４日　参加人数　利用者１４名、保護者８名 ・四郷高校吹奏楽部演奏会 令和７年３月２５日　参加人数　利用者１４名、 地域住民１６名 ・ボランティア交流会
3	施設サービス運営委員会	・地域関係者等を対象とした事業運営に関する意見交換会 令和７年３月１８日実施
4	施設啓発	・たんぽぽ通信発行　９月、２月発行 ・ホームページの更新 ・地区広報紙への掲載　アルミ缶協力依頼

３．危機管理

	項目	内容
1	健康管理カード・災害時緊急対応カード・安全管理マニュアル	・緊急連絡先、持病、服薬状況、障害特性、発作状況等を記載したカードの更新（随時） ・安全管理マニュアルの更新
2	防災対策	・防災（地震、火災）訓練　年４回実施 ・福祉ゾーン合同防災訓練　令和６年１２月１６日 ・緊急用トランシーバー訓練　月１回実施 ・ＢＣＰ活用・見直し
3	安全対策	・ヒヤリハット作成及び活用
4	防犯対策	・防犯（不審者対応）訓練　年１回実施 ・不審者対応マニュアルの活用 ・夜間・休日は警備会社にセンサー感知方式の警備委託

１－３－１１　あさけワークス管理運営事業（就労継続支援Ｂ型事業）

担当課：福祉支援課

事業所名：障害者自立支援施設あさけワークス

市受託事業（指定管理）　令和６～８年度

まとめ(事業の総括)	開所日数　２４３日、延べ利用者数　１,８２４名 平均年齢４１．８歳　　男性７名　女性２名 （Ｒ７．３．３１時点） ①地域住民との交流や外出等、利用者の社会参加を積極的に行い、地域で豊かな生活が実現できるよう支援しました。 ②作業については、安定した作業量を確保することができました。また、公共施設の清掃業務を月２回程度行い、地域貢献や利用者の社会参加、やりがいにつなげる事ができました。
決算額	５６，８６７，８４２円
主な財源	市受託金、就労支援事業収入、障害福祉サービス等事業収入

１．就労・生産活動等の機会の提供及び利用者支援

	項目	内容
1	受注作業	・ビニールカバーの成形作業 ・ゴム製品バリ取り作業 ・食品トレーへのシール貼り作業 ・ウエス用衣類裁断作業
2	自主作業	・自主製品の作成作業 ・名刺作成 ・点字刻印作業
3	リサイクル作業	・アルミ缶回収・分別作業 ・銅線の紙はがし作業
4	ニッチ産業等	・公共施設の清掃、維持管理
5	社会体験	・施設内研修 令和６年１２月６日（障害者雇用の現状について） 参加人数　利用者９名 令和７年３月１０日（防災に対する日頃からの備えについて） 参加人数　利用者７名 ・グループ別行動 令和６年９月１０日（行先：清和ワーク） 参加人数　利用者３名 令和６年１０月１０日（行先：マル伊水産） 参加人数　利用者３名 令和６年１０月３１日（行先：清和ワーク）

		参加人数　利用者３名 ・外出体験 令和７年２月２７日　忘年会（行先：くろがねもーち） 参加人数　利用者９名 ・施設又は企業見学 令和７年３月３日　施設見学（行先：社会福祉法人いずみ） 参加人数　利用者９名
6	健康管理	・健康診断　令和６年１０月１８日 （四日市羽津医療センター） ・嘱託医による医療相談
7	権利擁護	・成年後見制度利用にむけての啓発 ・権利擁護事案への対応
8	利用者の職場実習	・四日市障害者就業・生活支援センターやハローワークと連携 ・現受注企業や関係企業に協力依頼

２．地域に根差した活動・施設運営

	項目	内容
1	地域交流行事	・夏まつり開催 令和６年７月２６日　参加人数　利用者９名、ボランティア８名、地域住民８０名 ・八郷ふれあいまつり参加 令和６年１０月２０日 参加人数　利用者８名 ・八郷小学校福祉体験 令和６年５月２８日～２９日 参加人数　生徒６０名（２日間計） 令和６年６月５日　　参加人数　生徒２９名 ・八郷小学校夏休み体験教室 令和６年８月２１日　参加人数　小学６年生２名 ・八郷地区民協交流会 令和６年１２月２４日　クリスマス会 ・八郷社会福祉協議会福祉の勉強会 令和７年１月１８日　参加人数　利用者７名、地域住民８名 ・地域清掃　毎月１回実施 ・イベント等の即売会参加　　年２回出店
2	施設啓発	・「あさけワークスだより」の発行　年３回発行 ・地区広報紙掲載による施設紹介及び障害者施設理解の促進
3	関係機関との連携	・研修会や施設、企業訪問を実施
4	施設サービス運営委員会	・地域関係者等を対象とした事業運営に関する意見交換会 令和７年３月１７日

３．危機管理

	項目	内容
1	防災対策	・避難訓練（火災・地震交互）実施　年１２回実施 ・ＢＣＰの活用・見直し
2	防犯対策	・不審者対応マニュアルの活用 ・近隣施設及び交番と情報共有 ・夜間・休日は警備会社にセンサー感知方式の警備委託

１－４　高齢福祉拠点区分

１－４－１２　ホームヘルプサービス事業

担当課：福祉支援課

事業所名：訪問介護事業所

自主事業

まとめ(事業の総括)	①介護保険法及び障害者総合支援法の趣旨に従い、保健・医療・福祉等の各機関との連携を図りながら日常生活に支障のある高齢者、障害者等が安心して自立した在宅生活が送れるよう身体介護や生活援助等のサービスを提供し、利用者の生活の質の向上を図りました。 ②予防的視点及び認知症ケア・自立支援ケアを担う専門職として、ミーティングやオンライン動画研修サービス等による研修により、職員のスキルアップを図りました。
決算額	４９，０５４，０９０円
主な財源	障害福祉サービス等事業収入、介護保険事業収入

１．訪問介護事業(介護保険法対象事業)

<table>
<tr><th></th><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>1</td><td>訪問介護サービス
（要介護）</td><td>・利用者宅において食事・排泄・入浴等の身体介護や調理・洗濯・掃除・その他生活全般にわたる支援を行いました。
●介護保険・訪問介護サービス介護度別延べ利用者数（名）
<table>
<tr><th>年度</th><th>要介護1</th><th>要介護2</th><th>要介護3</th><th>要介護4</th><th>要介護5</th><th>合計</th></tr>
<tr><td>令和6</td><td>186</td><td>31</td><td>8</td><td>22</td><td>12</td><td>259</td></tr>
<tr><td>令和5</td><td>211</td><td>29</td><td>16</td><td>17</td><td>24</td><td>297</td></tr>
<tr><td>前年度比（%）</td><td>88</td><td>107</td><td>50</td><td>129</td><td>50</td><td>87</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>2</td><td>総合事業訪問型サービス
（要支援、事業対象者）</td><td>・利用者宅において調理・洗濯・掃除等その他生活全般にわたる支援を行いました。
●総合事業・訪問型サービス延べ利用者数（名）
<table>
<tr><th>年度</th><th>総合事業</th></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>575</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>583</td></tr>
<tr><td>前年度比（%）</td><td>99</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

２．居宅介護事業(障害者総合支援法対象事業)

<table>
<tr><th></th><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>1</td><td>居宅介護・重度訪問介護</td><td>・利用者宅において食事・排泄・入浴等の身体介護や調理・洗濯・掃除・その他生活全般にわたる支援を行いました。
●居宅介護サービス延べ利用者数（名）
<table>
<tr><th>年度</th><th>身体障害</th><th>知的障害</th><th>精神障害</th><th>合計</th></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>204</td><td>56</td><td>170</td><td>430</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>239</td><td>68</td><td>160</td><td>467</td></tr>
<tr><td>前年度比（%）</td><td>85</td><td>82</td><td>106</td><td>92</td></tr>
</table>
●居宅介護サービス内容別延べ利用回数（回）
<table>
<tr><th>年度</th><th>家事援助</th><th>身体介護</th><th>合計</th></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>1,209</td><td>2,795</td><td>4,004</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>1,715</td><td>3,459</td><td>5,174</td></tr>
<tr><td>前年度比(%)</td><td>70</td><td>81</td><td>77</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

１－４－１３　通所デイサービス事業

担当課：福祉支援課

事業所名：通所介護事業所ゆりかもめ

自主事業

まとめ(事業の総括)	介護保険法、障害者自立支援法、その他関係法令に基づき、「利用者の自立支援」「利用者による選択（意思決定）」「人権の尊重」を基本理念とし、要支援・要介護状態になっても住み慣れた地域でその人らしい暮らしを続けることができるように、安全・安心なサービスを提供しました。
決算額	６０，５６４，９９４円
主な財源	介護保険事業収入、障害福祉サービス等事業収入

１．介護サービス

<table>
<tr><th></th><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>1</td><td>通所介護（要介護者）
介護予防通所介護相当サービス（要支援、事業対象者１・２）</td><td>・事業所において必要な日常生活上の援助、健康状態の確認、機能訓練・入浴・食事・送迎サービス、相談・援助等の実施
開所日数　２９２日、延べ利用者数　５，１８７名
<table>
<tr><th></th><th colspan="3">延利用者数（名）</th></tr>
<tr><th>年度</th><th>要介護</th><th>要支援</th><th>計</th></tr>
<tr><td>令和6</td><td>4,120</td><td>1,067</td><td>5,187</td></tr>
<tr><td>令和5</td><td>4,639</td><td>1,480</td><td>6,119</td></tr>
<tr><td>前年度比（%）</td><td>89</td><td>72</td><td>85</td></tr>
</table>
月別延べ利用者数及び1日平均利用者数（名）
<table>
<tr><td>月別</td><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td></tr>
<tr><td>要介護</td><td>380</td><td>385</td><td>400</td><td>407</td><td>401</td><td>349</td></tr>
<tr><td>要支援</td><td>98</td><td>96</td><td>100</td><td>90</td><td>77</td><td>79</td></tr>
<tr><td>1日平均</td><td>19.1</td><td>20.0</td><td>20.0</td><td>19.1</td><td>18.4</td><td>18.6</td></tr>
<tr><td>月別</td><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td></tr>
<tr><td>要介護</td><td>381</td><td>356</td><td>320</td><td>272</td><td>238</td><td>231</td></tr>
<tr><td>要支援</td><td>94</td><td>92</td><td>92</td><td>89</td><td>72</td><td>88</td></tr>
<tr><td>1日平均</td><td>18.3</td><td>18.7</td><td>17.2</td><td>16.4</td><td>14.1</td><td>12.8</td></tr>
</table>
【特記事項】
令和８年３月末で事業を終了します。令和７年１月以降は体調不良、入所等で契約終了となった利用者が多かった一方、新規契約はなく１日平均利用者数が減少傾向でした。そのため、収支のバランスに留意し事業運営を考えていく必要があります。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>2</td><td>基準緩和通所型サービス
〔サービスＡ〕（要支援・事業対象者）</td><td>・事業所において交流・生きがいづくりの場の提供、生活機能向上のための活動、健康状態の確認、送迎サービス、相談・助言等の実施をしました。
開所日数　９２日、延べ利用者数　１，１６９名
<table>
<tr><td>年度</td><td>延利用者数（名）</td></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>1,169</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>1,014</td></tr>
<tr><td>前年度比（%）</td><td>115</td></tr>
</table>
月別延べ利用者数及び１日平均利用者数（名）
<table>
<tr><td>月別</td><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td></tr>
<tr><td>延べ数</td><td>92</td><td>78</td><td>101</td><td>113</td><td>116</td><td>93</td></tr>
<tr><td>1日平均</td><td>11.5</td><td>11.1</td><td>12.6</td><td>14.1</td><td>14.5</td><td>13.3</td></tr>
<tr><td>月別</td><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td></tr>
<tr><td>延べ数</td><td>91</td><td>100</td><td>92</td><td>78</td><td>91</td><td>124</td></tr>
<tr><td>1日平均</td><td>13.0</td><td>12.5</td><td>11.5</td><td>11.1</td><td>13.0</td><td>13.8</td></tr>
</table>
【特記事項】
延利用者数は増加傾向ですが、今後の事業継続については検討中です。</td></tr>
<tr><td>3</td><td>基準該当生活介護
（障害者総合支援法対象事業）</td><td>・事業所において必要な日常生活上の援助、健康状態の確認、日中活動、入浴・食事・送迎サービス、相談・援助等の実施をしました。
開所日数　２９２日、延べ利用者数　６０名
<table>
<tr><td>年度</td><td>延利用者数（名）</td></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>60</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>92</td></tr>
<tr><td>前年度比（%）</td><td>65</td></tr>
</table>
月別延べ利用者数（名）
<table>
<tr><td>月別</td><td>4 月</td><td>5 月</td><td>6 月</td><td>7 月</td><td>8 月</td><td>9 月</td></tr>
<tr><td>延べ数</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td></tr>
<tr><td>月別</td><td>10 月</td><td>11 月</td><td>12 月</td><td>1 月</td><td>2 月</td><td>3 月</td></tr>
<tr><td>延べ数</td><td>5</td><td>6</td><td>4</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td></tr>
</table>
【特記事項】
介護保険サービスへの移行や入所等の理由により利用者数が減少しました。また、地域周辺に新規で障害者施設が増加しました。令和８年３月末の通所介護事業終了に伴い事業終了です。</td></tr>
<tr><td>4</td><td>放課後等デイサービス
（児童福祉法対象事業）</td><td>依頼はありませんでした。</td></tr>
</table>

２．地域に根差した施設運営

	項目	内容
1	出前講座	・地域のサロン等で健康講話、体操、レクリーション、創作活動等生活機能向上のための取り組み実施しました。
2	地域交流	・地域に開かれた施設づくりを目指し、実習生の受入及びボランティアに活動の場を提供しました。
3	関係機関との連携	・他事業所との情報交換等を行いました。

１－４－１４　くす在宅介護支援センター運営事業

担当課：福祉支援課

事業所名：くす在宅介護支援センター

市受託事業

まとめ(事業の総括)	高齢者福祉の公的な相談窓口として、高齢者等が住み慣れた地域で安心して、その人らしい生活ができるよう関係機関と連携しながら介護等各種の相談に応じました。
決算額	１２，１４１，８１９円
主な財源	市受託金

１．くす在宅介護支援センター運営事業

	項目	内容
1	総合相談	・地域の身近な相談支援窓口として、介護に関する相談や福祉サービスを利用するための連絡調整等を実施しました。 ・相談件数（件）

	本人	家族	その他	合計
来所	61	93	41	195
訪問	618	17	6	641
電話	154	415	297	866
令和６　合計	838	525	344	1,702
令和５　合計	777	442	530	1,749
前年度比（%）	108	119	65	97

・訪問給食実績（件）

年度	昼食	夕食	合計
令和６	1,490	2,249	3,679
令和５	1,218	2,443	3,661
前年度比（%）	122	92	100

<table>
<tr>
<td>2</td>
<td>地域介護予防普及啓発事業</td>
<td>
・介護予防の知識や重要性、地域での継続的な取り組みによる効果等を地域の集い等で啓発を行いました。
・転倒骨折予防教室「こけねぇずクラブ」
<table>
<tr><th>曜日</th><th>実施回数
（回）</th><th>延べ参加人数合計
（名）</th></tr>
<tr><td>第 1 水曜日</td><td>12</td><td>84</td></tr>
<tr><td>第 3 水曜日</td><td>12</td><td>72</td></tr>
</table>
・若返り体操教室
<table>
<tr><th>曜日</th><th>実施回数
（回）</th><th>延べ参加人数合計
（名）</th></tr>
<tr><td>第 1 火曜日</td><td>12</td><td>228</td></tr>
</table>
・元気応援体操教室
<table>
<tr><th>曜日</th><th>実施回数
（回）</th><th>延べ参加人数合計
（名）</th></tr>
<tr><td>第 2 火曜日</td><td>12</td><td>39</td></tr>
</table>
・ふれあいいきいきサロン出前講座
<table>
<tr><th>サロン数</th><th>実施回数
（回）</th><th>延べ参加人数合計
（名）</th></tr>
<tr><td>10</td><td>15</td><td>241</td></tr>
</table>
</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>福祉活動推進事業</td>
<td>
・一般介護予防事業への協力や介護保険福祉制度等を地域の集い等で周知啓発、講座開催等、認知症普及啓発のための取り組み実施を実施しました。
<table>
<tr><th>開催日</th><th>場所</th><th>行事名</th><th>参加者
(名)</th></tr>
<tr><td>令和 6 年
10 月 5 日</td><td>楠福祉会館</td><td>共に支える</td><td>92</td></tr>
<tr><td>令和 6 年
11 月 14 日</td><td>楠福祉会館</td><td>ひとり暮らし
ふれあい会</td><td>93</td></tr>
<tr><td>令和 6 年
11 月 16 日</td><td>ゆりかもめ前</td><td>RUN 伴四日市 2024</td><td>7</td></tr>
<tr><td>令和 7 年
1 月 25 日</td><td>楠地区市民
センター</td><td>くすりんフェスタ
認知症サポーター
養成講座</td><td>23</td></tr>
<tr><td>令和 7 年
2 月 1 日</td><td>楠交流会館</td><td>くすりんフェスタ
In 楠まちキッチン</td><td>80</td></tr>
</table>
</td>
</tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td></td><td>
<table>
<tr><td>令和７年
３月24日</td><td>楠交流会館</td><td>認知症サポーター
養成講座</td><td>10</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>４</td><td>ほんわカフェ（認知症カフェ）</td><td>・認知症カフェの開催を通じて認知症の方や家族・地域住民・専門職等の誰もが集える場づくりの実施を実施しました。
<table>
<tr><td>実施回数（回）</td><td>延べ参加人数合計（名）</td></tr>
<tr><td>11</td><td>125</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>５</td><td>地区地域ケア会議</td><td>・地域関係者や専門職とともに地域課題の発見・抽出・協議、ネットワーク構築、地域づくりや資源開発等について検討実施しました。
【第１回】
実施日：令和６年５月１５日
内　容：介護支援専門員に必要な医療・介護連携に関する知識について
参加者：楠地区内居宅介護支援事業所、包括地区担当、市在宅医療・介護連携支援センター 計１１名
【第２回】
実施日：令和７年１月２５日
内　容：認知症の方にやさしいまちづくりのために
参加者：地区住民２０名
【第３回】
実施日：令和７年３月１８日
内　容：地域のささえあいについて
参加者：地区内各団体代表等 計８名</td></tr>
<tr><td>６</td><td>ハイリスクアプローチ事業</td><td>・健康状態不明やフレイルリスクの高い高齢者の閉じこもりの可能性がある高齢者の状況把握を目的とするアウトリーチを実施しました。
<table>
<tr><td></td><td>アウトリーチ支援（件）</td></tr>
<tr><td>健康状態不明者状況把握</td><td>8</td></tr>
<tr><td>フレイル対策状況把握</td><td>4</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>７</td><td>地域連携協力体制構築</td><td>・地域の様々な関係機関の行事や会議等に参加し連携を深め、包括的継続的なケア体制を構築しました。（ブロック会議、情報交換会等会議等）
<table>
<tr><td>開催日</td><td>場所</td><td>行事・会議名</td></tr>
<tr><td>月１回</td><td>楠福祉会館</td><td>楠地区民児協定例会</td></tr>
<tr><td>令和６年
４月26日</td><td>楠地区市民センター</td><td>楠地区社協総会</td></tr>
<tr><td>令和６年
５月15日</td><td>ゆりかもめ</td><td>楠地区民児協高齢者
福祉研究事業部会研修</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

			令和６年 ７月２日	楠地区市民センター	楠地区サロン連絡会	
			令和６年 ９月５日	楠地区市民センター	楠地区 市長との 地域づくり懇談会	

２　公益事業

２－１　法人運営拠点区分

２－１－１５　市民啓発事業

担当課：総務課

自主事業

まとめ(事業の総括)	社協だより「かけはし」は、年３回発行のうち１回を６ページ構成に増刷し、内容を充実させました。
決算額	５，５１５，９８１円
主な財源	市補助金、社会福祉協議会会費

１．広報紙の発行

	項目	内容
1	社協だより「かけはし」	

発行日	内容
令和６年 ７月５日	【第162号】 〔特集･表紙:令和６年度の重点的な取り組み　誰ひとり取り残さない『つながり、支えあう地域共生社会へ』〕全４ページ ●障害者福祉センターからのお知らせ WITH ・運動・外出・交流のきっかけに！！～障害者デイサービス機能訓練～ ●お知らせ ・安心安全講習会、防災講習会受講者募集（視覚障害者福祉センター） ・ひとり親家庭のためのパソコン講座受講者募集（母子・父子福祉センター） ・サマーチャレンジ 2024 開催！（ボランティアセンター） ●令和６年度予算及び令和５年度決算の報告 ●令和５年度会費のお礼 ●寄付のお礼 ●四社協 SNS&WEB の案内
令和６年 10月20日	【第163号】 〔表紙・特集：ここに来たら、ホッとできる、笑顔になれる～ふれあいいきいきサロン～ 〕

				全6ページ ●障害者福祉センターからのお知らせ WITH ・障害者福祉講座の案内 ●お知らせ ・親子飾り巻き寿司教室参加者募集（母子・父子福祉センター） ・「フロンティア四日市（四日市市老人クラブ連合会）」加入者募集（四日市市老人クラブ連合会事務局） ・「親族後見人のつどい」参加者募集（後見サポートセンター） ・「三療学術講習会」参加者募集（視覚障害者福祉センター） ●赤い羽根共同募金について ●社会福祉大会について ●寄付のお礼 ●四社協 SNS&WEB の案内
			令和7年 2月20日	【第164号】 〔表紙：やさしいまち一緒につくろう～未来につながる人づくり～ 〕全4ページ ●障害者福祉センターからのお知らせ WITH ・障害者福祉講座の報告 ・障害者デイサービスの利用者募集 ●お知らせ ・四日市ボランティアキャンペーンの案内（ボランティアセンター） ・後見ゼミナールフォローアップ研修参加者募集（成年後見サポートセンター） ・サークル受講生募集（母子・父子福祉センター） ●赤い羽根共同募金運動のお礼 ●四日市ボランティアキャンペーンのお知らせ ●寄付のお礼 ●四社協 SNS&WEB の案内

２．社会福祉大会の開催

<table>
<tr><th></th><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>1</td><td>四日市市社会福祉大会</td><td>●開催日：令和６年１１月１２日
場所：市文化会館第１ホール
<table>
<tr><th colspan="3">福祉功労者表彰</th><th rowspan="3">参加者</th></tr>
<tr><th rowspan="2">表彰区分</th><th colspan="2">被表彰者数</th></tr>
<tr><th>個人</th><th>団体</th></tr>
<tr><td>四日市市長表彰</td><td>1</td><td>0</td><td rowspan="8">・被表彰者
（29 名、6 団体）

・一般来場者
（374 名）</td></tr>
<tr><td>四日市市長感謝</td><td>0</td><td>0</td></tr>
<tr><td>四日市市長特別表彰</td><td>0</td><td>3</td></tr>
<tr><td>四日市市社会福祉協議会会長表彰</td><td>13</td><td>1</td></tr>
<tr><td>四日市市社会福祉協議会会長感謝</td><td>15</td><td>0</td></tr>
<tr><td>三重県共同募金会四日市市共同募金委員会会長表彰</td><td>0</td><td>2</td></tr>
<tr><td>合計</td><td>29</td><td>6</td></tr>
<tr><td colspan="3">講演
「波乱万丈物語～未来へ向けて～」
講師:米良　美一氏（カウンターテナー）</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

３．ホームページの運営

<table>
<tr><th></th><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>1</td><td>ホームページ更新</td><td>・四社協の組織や事業とともに、職員募集情報や各種講座案内等の記事の掲載を行い、タイムリーな情報を提供しました。
・外国籍市民向けに外国語に変換できるシステムを導入しました。
アクセス数５８１件</td></tr>
</table>

２－１－１６　社会福祉団体補助金交付事業

担当課：総務課

自主事業

まとめ(事業の総括)	補助金交付により社会福祉団体の活動を支援しました。
決算額	５，３２０，０００円
主な財源	市補助金、市交付金

１．社会福祉団体補助金交付

	項目	内容
1	社会福祉団体補助金交付	・補助金交付による各団体の活動支援

２－１－１７　生活福祉資金運営事業

担当課：総務課

三重県社会福祉協議会受託事業

まとめ(事業の総括)	低所得者、障害者、高齢者を対象者に、以下の相談、申請、返済の窓口を担当しました。生活困窮者の方に貸付を行うことで、その後の生活の自立を促しました。
決算額	１５，２５９，５３４円
主な財源	三重県社会福祉協議会受託金

１．生活福祉資金貸付

	項目	内容
三重県社会福祉協議会が行う下記の費用の貸付に対して、申請受付を行いました		
1	教育支援費・就学支度費	・高等学校以上の教育機関へ進学・通学する際の費用

年度	貸付決定件数（件）
令和 6	17
令和 5	21
前年度比（%）	81

	項目	内容
2	福祉費（転宅費）	・転居にかかる費用

年度	貸付決定件数（件）
令和 6	3
令和 5	2
前年度比（%）	150

	項目	内容
3	福祉費（技能習得費）	・教育支援費には該当しない専門学校等に通うための費用

年度	貸付決定件数（件）
令和 6	0
令和 5	3
前年度比（%）	—

<table>
<tr><td>4</td><td>障害者自動車購入資金</td><td>・障害者の方が自動車を購入するための費用
<table>
<tr><td>年度</td><td>貸付決定件数（件）</td></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>0</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>0</td></tr>
<tr><td>前年度比（%）</td><td>—</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>5</td><td>福祉費（生保生活必需品購入費）</td><td>・生活保護受給中の方が、エアコンや冷蔵庫等必要最低限の家電製品を購入するための費用
<table>
<tr><td>年度</td><td>貸付決定件数（件）</td></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>2</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>1</td></tr>
<tr><td>前年度比（%）</td><td>200</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>6</td><td>住宅改修資金</td><td>・住宅の雨漏り修繕
<table>
<tr><td>年度</td><td>貸付決定件数（件）</td></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>0</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>0</td></tr>
<tr><td>前年度比（%）</td><td>—</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>7</td><td>緊急小口資金</td><td>・一時的に生活が困窮した方に対する生活費
<table>
<tr><td>年度</td><td>貸付決定件数（件）</td></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>19</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>20</td></tr>
<tr><td>前年度比（%）</td><td>95</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>8</td><td>総合支援資金</td><td>・失業中の方の求職中の生活費
<table>
<tr><td>年度</td><td>貸付決定件数（件）</td></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>0</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>0</td></tr>
<tr><td>前年度比（%）</td><td>—</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

２．新型コロナウイルス特例貸付償還にかかる相談援助

<table>
<tr><td></td><td>項目</td><td>内容</td></tr>
<tr><td>1</td><td>コロナ特例小口資金</td><td rowspan="3">・令和２年３月から令和４年９月まで行われた、新型コロナウイルス感染症の影響で減収となった方の貸付の返済に関連する、相談や猶予申請手続きを行いました。
<table>
<tr><td>資金種類</td><td>償還免除決定件数（件）</td><td>償還猶予決定件数（件）</td></tr>
<tr><td>特例緊急小口資金</td><td>45</td><td>40</td></tr>
<tr><td>特例総合支援資金（延長貸付・再貸付含む）</td><td>142</td><td>51</td></tr>
<tr><td>令和 6 合計</td><td>187</td><td>91</td></tr>
<tr><td>令和 5 合計</td><td>292</td><td>134</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>2</td><td>特例総合支援資金</td></tr>
<tr><td>3</td><td>特例総合支援資金再貸付</td></tr>
</table>

		前年度比（%）	64	68

２－１－１８　生活困窮者自立支援事業

担当課：総務課

事業所名：生活支援室

市受託事業

まとめ(事業の総括)	新型コロナウイルス感染症による生活困窮者は今なお生活の改善がなされていない方も多く、また物価高騰の影響による経済的困窮者の相談も増加しました。また相談内容も複雑化・多様化がみられ関係機関と連携・協働し相談者の自立に向けて伴走支援を行いました。また、新規事業のアウトリーチ支援に関してはひきこもり状態にある方等の訪問支援や各関係機関からの新規相談を積極的に受け入れ対応をしました。
決算額	６１，４８５，１６１円
主な財源	市受託金

１．生活困窮者自立支援

	項目	内容
1	総合相談	・生活困窮の解決に必要な情報の提供・支援の実施。 ・対個人の支援として、ワンストップ型の相談窓口により、情報とサービスの拠点として機能 ・一人ひとりの状況に応じ自立にむけた支援計画（プラン）作成。 ・プランに基づき、各関係機関や各団体との連携、既存の制度等を活用しながら包括的、継続的に対象者の自立にむけた支援を実施。

年度	延べ相談件数（件）	うち新規受付件数（件）
令和 6	5,412	529
令和 5	4,956	475
前年度比（%）	109	111

・専任通訳配置（スペイン語、ポルトガル語、英語）

年度	延べ相談件数（件）	うち外国人のべ支援件数（件）
令和 6	5,412	685
令和 5	4,956	537

<table>
<tr><td></td><td></td><td><table><tr><td>前年度比（%）</td><td>109</td><td>128</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>2</td><td>就労支援</td><td>・市保護課・ハローワーク等各関係機関と連携しながら就労にむけた支援を実施しました。
・生活保護受給者等就労自立促進事業の利用支援を行いました。
・住居確保給付金の利用支援を行いました。
・就労準備支援事業と連携を図りました。<table><tr><td>年度</td><td>延べ相談件数（件）</td><td>うち就労支援件数（件）</td></tr><tr><td>令和 6</td><td>5,412</td><td>362</td></tr><tr><td>令和 5</td><td>4,956</td><td>324</td></tr><tr><td>前年度比（%）</td><td>109</td><td>112</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>3</td><td>家計改善支援</td><td>・家計に問題を抱える生活困窮者からの相談に応じ、家計状況の「見える化」支援を実施しました。
・家計再生の計画・家計プランを作成し、相談者の家計管理支援を実施しました。<table><tr><td>年度</td><td>延べ相談件数（件）</td><td>うち家計改善支援件数（件）</td></tr><tr><td>令和 6</td><td>5,412</td><td>527</td></tr><tr><td>令和 5</td><td>4,956</td><td>288</td></tr><tr><td>前年度比（%）</td><td>109</td><td>183</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>4</td><td>アウトリーチ支援
（新規事業）</td><td>・ひきこもりや丁寧な支援を必要とする方に対するアウトリーチや伴走支援を実施しました。<table><tr><td>年度</td><td>延べ相談件数（件）</td><td>うちひきこもり支援件数（件）</td><td>うち伴走支援件数（件）</td><td>うち外部からの相談件数（件）</td></tr><tr><td>令和 6</td><td>5,412</td><td>191</td><td>722</td><td>266</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>5</td><td>支援調整会議</td><td>・定例（年１２回）実施しました。
・プランの協議や関係機関によるプランの共有、終結等の評価を行いました。</td></tr>
</table>

２．その他の制度との連携・支援

	項目	内容
1	緊急小口資金特例貸付後の自立にむけた支援	・特例貸付利用後もなお生活が困窮している世帯に対して対面での面談を行い必要に応じて償還免除や償還猶予の申請を行い自立に向けた継続した支援を実施しました。

<table>
<tr><td></td><td></td><td>・生活福祉資金貸付担当との連携し生活が今なお困窮している世帯の早期発見に努めました。</td></tr>
<tr><td>2</td><td>食糧等支援</td><td>・みえ福祉の『わ』創造事業や寄付物品の活用による食糧・消耗品・就労活動の支援等の支援を行いました。
<table>
<tr><th>年度</th><th>緊急食糧提供事業</th><th>緊急時物品等支援</th><th>就労活動支援事業</th></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>405</td><td>134</td><td>26</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>278</td><td>148</td><td>35</td></tr>
<tr><td>前年度比（%）</td><td>146</td><td>91</td><td>74</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

２－２　地域福祉拠点区分

２－２－１９　ふれあいのまちづくり事業

担当課：地域福祉課

補助事業

まとめ(事業の総括)	コミュニティソーシャルワーカー（以下「ＣＳＷ」）を配置し、個別の処遇困難事例等から福祉課題の調査研究を行いました。多様化、複雑化した地域課題に対応できる事業と体制をつくり、地域福祉活動団体と協働で地域福祉の推進を実施しました。
決算額	５２，８９１，１５２円
主な財源	市補助金、社会福祉協議会会費、事業収入、市受託金

１．地区社会福祉協議会支援

<table>
<tr><th></th><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>1</td><td>運営費助成</td><td>・四日市市地区社会福祉協議会活動補助要綱に基づき地域福祉活動の財源の一部として助成を行いました。
・助成金
<table>
<tr><th>年度</th><th>組織運営費助成金（円）</th><th>事業費活動費助成金（円）</th><th>共同募金配分金助成金（円）</th></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>1,224,000</td><td>2,725,000</td><td>7,701,132</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>1,224,000</td><td>2,725,000</td><td>7,969,926</td></tr>
<tr><td>前年度比（%）</td><td>100</td><td>100</td><td>96.6</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>2</td><td>メニュー事業　学習啓発事業</td><td>・四日市市地区社会福祉協議会活動補助要綱に定めた特定のメニューを実施する際に、財源の一部として助成を行いました。助成申請が減っている理由として、事業実施の際に助成申請を行わなかったということがありました。対応として申請手続きを行う地区社協事務局機能強化の必要があります。

・メニューの種類
・学習啓発事業
<table>
<tr><th>年度</th><th>助成金総額（円）</th><th>助成地区数</th><th>実施事業数</th></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>137,161</td><td>8</td><td>11</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>195,574</td><td>9</td><td>17</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td></td><td>
<table>
<tr><td>前年度比
（%）</td><td>70.1</td><td>88.9</td><td>64.8</td></tr>
</table>
・交流事業
<table>
<tr><td>年度</td><td>助成金総額
（円）</td><td>助成地区数</td><td>実施事業数</td></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>515,387</td><td>15</td><td>32</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>610,532</td><td>18</td><td>34</td></tr>
<tr><td>前年度比
（%）</td><td>84.4</td><td>83.3</td><td>94.1</td></tr>
</table>
・地域お助け加算
<table>
<tr><td>年度</td><td>助成金総額
（円）</td><td>地区数</td><td>サロン数</td></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>1,345,000</td><td>30</td><td>269</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>1,240,000</td><td>29</td><td>248</td></tr>
<tr><td>前年度比
（%）</td><td>108</td><td>103</td><td>108</td></tr>
</table>
・福祉協力員事業
<table>
<tr><td>年度</td><td>助成金総額（円）</td><td>助成地区数</td></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>969,000</td><td>11</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>974,000</td><td>11</td></tr>
<tr><td>前年度比
（%）</td><td>99.5</td><td>100</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>3</td><td>ネットワーク強化</td><td>・地区社会福祉協議会の事業推進のために3つのブロックにわかれ、会議で意見交換、情報交換を実施するとともにイベント備品の貸出や全体事業を実施しました。
ブロック別会長会議
第１回　令和６年６月27日(北部)
令和６年６月28日(中部・南部)
内容：事業計画、事業報告について
地域福祉活動計画について
第２回　令和７年１月30日(北部)
令和７年１月29日(中部・南部)
内容：令和７年度補助金等の変更について
活動状況について情報交換
全体事業：グラウンドゴルフ大会(四日市ドーム)</td></tr>
</table>

		令和７年3月12日、25地区213名が参加 ・各地区役員会での座談会等の開催を呼びかけ、地区社協の組織強化をすすめました。(5 地区)
4	地域コミュニティの推進	・地区社会福祉協議会、福祉協力員、民生委員児童委員等の地域福祉活動団体の会議、イベントに出席し、福祉課題を把握するとともに課題解決にむけて調査研究、事業提案を実施しました。（民生委員児童委員定例会出席：２５９回）

２．四日市市小地域福祉活動事業（拠点事業）

<table>
<tr><th></th><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>1</td><td>地域拠点を活用したモデル事業</td><td>・市内４か所において、カフェサロン、住民主体サービス、公営住宅におけるコミュニティソーシャルワークのモデル事業及び調査研究を実施しました。
●富田地区拠点
ふれあいいきいきサロンカフェサロンのモデル事業として地域ボランティアと共にカフェサロンの運営を実施しました。
<table>
<tr><th>年度</th><th>カフェサロン開催日数（日）</th><th>延べ参加人数（名）</th><th>延べスタッフ人数（名）</th></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>48</td><td>1,758</td><td>336</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>44</td><td>1,538</td><td>336</td></tr>
<tr><td>前年度比（%）</td><td>109</td><td>114</td><td>100</td></tr>
</table>
●坂部が丘地区拠点
毎週木曜日に地域訪問を実施しました。自治会役員や民生委員児童と福祉課題に対しての情報交換を行いました。
<table>
<tr><th>年度</th><th>運営委員会（回）</th><th>見守り訪問（回）</th></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>2</td><td>44</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>2</td><td>48</td></tr>
<tr><td>前年度比（%）</td><td>100</td><td>92</td></tr>
</table>
<table>
<tr><th>実施日</th><th>内容</th><th>参加人数（名）</th></tr>
<tr><td>令和 6 年 11 月 4 日</td><td>カフェサロンとフードパントリー</td><td>22</td></tr>
<tr><td>令和 7 年 3 月 13 日</td><td>カフェサロンとフードパントリー</td><td>17</td></tr>
</table>
●下野地区拠点
住民主体サービスの会員を増やすためのモデル事業として協</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td></td><td>働で事業を実施しました。協働事業や定期的にサロン活動をするなど、地域活動をすることで住民主体サービスの周知啓発を行いました。
<table>
<tr><th>実施日</th><th>内容等</th><th>参加人数
（名）</th></tr>
<tr><td>令和 6 年
8 月 22 日</td><td>協働事業「キーホルダーを作ろう」
対象：地域の小学生</td><td>40</td></tr>
</table>
●神前地区拠点
リユース事業の備蓄拠点として活用しました。</td></tr>
</table>

３．住民主体サービス推進

<table>
<tr><td>1</td><td>住民主体サービス団体連絡会議</td><td>・住民主体サービスＢ団体の役員会等へ参加するとともに、研修会等を実施し事業運営の支援を行いました。
<table>
<tr><th>日付</th><th>テーマ･講師</th><th>参加人数
（名）</th></tr>
<tr><td>令和 6 年
10月15日</td><td>全社協主催：支え合いをひろげる住民主体の生活支援フォーラム</td><td>4</td></tr>
<tr><td>令和 7 年
3 月 6 日</td><td>在宅専門診療所の実践方法等
講師：いしが在宅ケアクリニック
院長　石賀　丈史氏</td><td>25</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>2</td><td>総合事業（基準緩和サービス・住民主体サービス従事者）研修会</td><td>・総合事業を実施する指定機関に配置が必要な従事者向け研修を開催しました。
<table>
<tr><th>日付</th><th>テーマ・講師</th><th>参加人数</th></tr>
<tr><td>令和 7 年
3 月 18 日</td><td>市から指定された研修カリキュラムで実施しました。</td><td>21 名</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

４．四日市市福祉教育大学

<table>
<tr><td>1</td><td>四社協福祉ゼミナール</td><td>・市民を対象に、福祉活動の基礎を学ぶ・福祉活動参加のきっかけの場として開催しました。地域福祉活動計画策定年度であったため、様々なテーマで受講生以外の活動団体の方にも参加していただき意見交換する場を設けました。（5 回　延べ人数 336 名）</td></tr>
<tr><td>2</td><td>地域ゼミナール＋やろうに会議</td><td>・地域の福祉課題を考える機会としての福祉懇談会を福祉協力員設置地区の必須事業として、１１地区で開催しました。
・「やろうに会議」として身寄りのない方の関係者向けの勉強会を開催しました。（１回）</td></tr>
</table>

<table>
<tr>
<td>3</td>
<td>専門ゼミナール
 </td>
<td>・ふれあいいきいきサロン事業、市民後見、災害等のテーマ別の福祉人材の養成の機会として、講座を開催しました。
●ふれあいいきいきサロン研修会
<table>
<tr><th>日付</th><th>テーマ・講師</th><th>参加人数（名）</th></tr>
<tr><td>令和 6 年
12 月 17 日</td><td>テーマ：「普段の活動にちょい足し♪でサロン活動をより楽しもう！」
講師：四日市市介護予防担当職員</td><td>224</td></tr>
</table>
●後見ゼミナール
<table>
<tr><th>日付</th><th>テーマ･講師</th><th>参加人数（名）</th></tr>
<tr><td>令和 7 年
1 月 28 日</td><td>テーマ：「やってみよう、マインドフルネス」
講師：三重県こころの医療センター　作業療法士　三好　哲也氏</td><td>16</td></tr>
<tr><td>令和 7 年
2 月 14 日</td><td>テーマ：「人生 100 年時代に知っておきたいお金の話」
講師：J-FLEC　稲垣　裕子氏</td><td>20</td></tr>
<tr><td>令和 7 年
3 月 6 日</td><td>テーマ：「4700 名以上の在宅看取りの経験から～在宅専門診療所の実践等～」
講師：医療法人 SIRIUS いしが在宅ケアクリニック
院長　石賀　丈史氏</td><td>121</td></tr>
<tr><td>令和 7 年
3 月 18 日</td><td>テーマ：「四日市の高齢者福祉施策について」
講師：四日市市　高齢福祉課</td><td>25</td></tr>
</table>
●災害ボランティアセンター研修会
<table>
<tr><th>日付</th><th>内容・講師</th><th>参加人数（名）</th></tr>
<tr><td>令和 6 年
11 月 26 日</td><td>内容：「地域の連携を福祉力・防災力の視点から考えよう！」
講師：FEELDo 桒原　英文氏</td><td>27</td></tr>
</table>
</td>
</tr>
</table>

５．社会福祉相談援助実習

<table>
<tr><th></th><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>1</td><td>担当者会議</td><td>・社会福祉士相談援助実習担当者会議を行い、社会福祉士を目指す学生の相談援助実習受け入れ体制の充実を図り、４名の実習生を受け入れました。</td></tr>
<tr><td>2</td><td>職員研修企画</td><td>・社会福祉士の実習機関としてよりよい実習ができるように、ソーシャルワーク技術を職員が研鑽できるよう、全職員向け研修、ソーシャルワーカー向け研修（スキルアップ研修）を実施しました。
<table>
<tr><th>日付</th><th>テーマ・講師</th><th>参加人数（名）</th></tr>
<tr><td>全体研修
令和７年
２月 13 日</td><td>テーマ：「なぜ、自分の力は眠ったままなのか？～書くことで育む（UP）自己肯定感!!～」
講師：南勢病院　地域医療連携室
山元　孝二氏</td><td>157</td></tr>
<tr><td>スキルアップ研修
令和７年
２月 26 日</td><td>テーマ：「福祉分野におけるプレゼンテーション」
講師：日本福祉大学
社会福祉学部　添田　正揮氏</td><td>16</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

６．防災・災害支援事業

<table>
<tr><th></th><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>1</td><td>災害ボランティアセンター推進事業</td><td>・関係機関と連携した設置運営を目指し、災害ボランティアセンターを設置・運営できる職員の養成に取り組みました。
・災害ボランティアセンター委員会による、研修及び訓練を実施しました。
<table>
<tr><th>日付</th><th>テーマ・講師</th><th>参加人数（名）</th></tr>
<tr><td>令和７年
２月 11 日</td><td>テーマ：「災害ボランティアセンターシミュレーションマッチングゲーム」
講師：一般社団法人ピースボード
災害支援センター</td><td>44</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>2</td><td>広域災害ボランティアセンター強化事業</td><td>・三泗鈴亀広域連携協議会に参画し、圏域社協の連携を図りました。
担当者会議：令和６年　７月２９日
令和６年　９月２０日</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td></td><td>令和６年１１月１２日
訓練：令和７年　２月２０日
・北勢５市５町防災担当者連携会議担当者勉強会への出席（１回）</td></tr>
<tr><td>３</td><td>災害ボランティアセンター地域アドバイザー養成研修</td><td>・災害時に地域と災害ボランティアセンターの調整に関する相談役となる地域住民や福祉関係者の養成研修を行い、研修修了者から地域アドバイザーを募り、地域アドバイザーを中心に災害ボランティアセンターの出前講座や模擬訓練、災害時要配慮者の支援などアドバイザーが課題に感じたテーマを中心に取り組みを実施しました。
<table>
<tr><td></td><td>日付</td><td>参加人数（名）</td></tr>
<tr><td>第 1 回</td><td>令和 6 年 8 月 24 日</td><td>24</td></tr>
<tr><td>第 2 回</td><td>令和 6 年 9 月 28 日</td><td>22</td></tr>
<tr><td>第 3 回</td><td>令和 6 年 10 月 26 日</td><td>21</td></tr>
</table>
講座修了生:30名
（内、災害ボランティアセンター地域アドバイザー登録者数　17名）

・災害ボランティアセンター設置訓練を実施しました。
<table>
<tr><td>日付</td><td>実施場所</td><td>参加人数（名）</td></tr>
<tr><td>令和 6 年
5 月 12 日</td><td>四日市大学防災講座</td><td>4</td></tr>
<tr><td>令和 6 年
10 月 6 日</td><td>県地区</td><td>6</td></tr>
</table>
・災害時要配慮者におけるニーズ調査の実施として、避難行動個別支援計画調査研究を進めました。
<table>
<tr><td>日付</td><td>内容・実施場所等</td><td>参加人数（名）</td></tr>
<tr><td>令和 6 年
8 月 19 日</td><td>モデル個別避難計画作成会議</td><td>当事者 1
事業者 2</td></tr>
<tr><td>令和 6 年
10 月 22 日</td><td>内容：福祉避難所設置訓練
場所：四日市福祉会
（事前打合せ）
令和 6 年 8 月 23 日</td><td>当事者含め
16</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

7．包括的福祉相談窓口

<table>
<tr><th></th><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>1</td><td>包括的福祉相談窓口</td><td>・包括的相談窓口を設置し担当者（ＣＳＷ２名）を配置しました。権利擁護が必要な事案を中心に、関係機関での対応が難しい相談等については新規相談として相談対応をすすめ、他機関で対応できる相談については適切な窓口につなげる支援を実施しました。
<table>
<tr><th>年度</th><th>新規相談件数（件）</th></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>389</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>528</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>2</td><td>つなぎ事業</td><td>・包括相談窓口等に寄せられた相談で、支援が必要だが、福祉サービス等に上手くつながらないケースに対して、一定の介入により福祉サービスにつなげるケースワークを実施しました。

●つなぎ支援相談対応件数（件）
<table>
<tr><th>年度</th><th>訪問</th><th>電話</th><th>来所</th><th>その他</th><th>合計</th></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>1,620</td><td>1,568</td><td>374</td><td>1,271</td><td>4,833</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>2,365</td><td>2,317</td><td>669</td><td>3,714</td><td>9,065</td></tr>
<tr><td>前年度比（%）</td><td>68</td><td>68</td><td>56</td><td>34</td><td>53</td></tr>
</table>
●支援実人数
<table>
<tr><th>年度</th><th>人数（名）</th></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>651</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>732</td></tr>
<tr><td>前年度比（%）</td><td>89</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>3</td><td>ＣＳＷ事業</td><td>・個別の相談から、福祉課題を抽出し、身寄りのない方の課題について調査研究を行いました。
<table>
<tr><th>調査研究内容</th><th>実施内容</th></tr>
<tr><td>終身サポート事業者との連携の在り方について</td><td>勉強会
アンケート調査</td></tr>
<tr><td>高齢者等のペットなどの課題</td><td>関係者聞き取り調査
アンケート調査</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

8．自立生活困窮者対策支援事業

<table>
<tr><th></th><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>1</td><td>生活協同組合生活困窮者対策支援事業</td><td>・企業の社会貢献活動を生活困窮家庭支援事業として活用しました。
<table>
<tr><th>年度</th><th>おもな内訳</th><th>件数（件）</th></tr>
</table></td></tr>
</table>

		令和 6	お米 12 点、パックご飯 18 点、缶・ビン詰め 73 点、カップ麺 214 点、レトルト食品 43 点、飲料等 338 点、その他 112 点	76
		令和 5	お米 15 点、パックご飯 3 点、カップ麺 99 点、レトルト食品 50 点、飲料 356 点、その他 149 点	70

2	リユース事業	・関係者から不要で使用可能なものを受け入れ、生活困窮者に提供し家電や生活用品のリユースを行うとともに、生活指導を実施しました。

年度	おもな内訳	件数（件）
令和 6	自転車、洗濯機、テレビ、炊飯器、掃除機等	9
令和 5	テレビ、冷蔵庫、電子レンジ、掃除機、洗濯機等	9

９．包括的相談体制整備

	項目	内容
1	包括的相談体制整備	・四社協内各部署における各相談窓口の連携により、包括的な相談対応ができるように連携した取り組みを実施するための意見交換、情報共有の必要性があり、令和７年度に取り組みを計画しています。

１０．車椅子短期貸出

	項目	内容
1	車椅子短期貸出	・車椅子を一時的に必要とする市民を対象とした、車椅子短期貸出は、貸出期間：１か月を目安に最大３か月として行いました。

年度	件数（件）
令和 6	141
令和 5	171
前年度比（%）	82

２－２－２０　福祉ボランティアのまちづくり事業

担当課：地域福祉課

補助事業

まとめ(事業の総括)	ボランティアセンター登録の団体や個人数は増加しており、情報提供や講座の開催で横のつながりをつくるなど活動支援を行うことができました。一方でボランティア活動の啓発や体験参加者数は減少するなど課題が残りました。ボランティアに関する相談を受ける中で、新たな企業とつながり、連携しながらボランティア講座を開催するなど、それぞれの強みを活かして地域活動に参画するきっかけをもつことができました。
決算額	２１，５５６，８９５円
主な財源	市補助金、社会福祉協議会会費、事業収入

１．相談援助

	項目	内容
1	ボランティアに関する相談	・ボランティアをしたい方、既に活動している個人や団体からの相談…（Ａ） ・ボランティアを依頼したい方や団体からの相談…（Ｂ）

相談延べ件数	（A）の相談件数（件）	（B）の相談件数（件）
令和 6	300	105
令和 5	254	99
前年度比（%）	118	106

年度	団体登録数団体（団体）	個人登録数（名）
令和 6	194	200
令和 5	157	126
前年度比（%）	124	159

２．情報収集・提供

<table>
<tr><th></th><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>1</td><td>ボランティアニュース</td><td>・ボランティア活動の情報紙「ボランティアのたまご」を月１回、１，８００部発行し、登録団体・個人、行政、施設、学校、企業等へ送付しました。
<table>
<tr><th>年度</th><th>発行回数（回）</th><th>送付箇所</th></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>12</td><td>308</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>12</td><td>261</td></tr>
<tr><td>前年度比（%）</td><td>100</td><td>118</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>2</td><td>ホームページ</td><td>・ボランティアセンター事業やボランティア募集状況を発信しました。
<table>
<tr><th>年度</th><th>更新回数（回）</th></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>12</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>12</td></tr>
<tr><td>前年度比（%）</td><td>100</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>3</td><td>ＳＮＳ</td><td>・フェイスブック、インスタグラムによる情報発信しました。（随時）
<table>
<tr><th>年度</th><th>更新回数（回）</th></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>40</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>74</td></tr>
<tr><td>前年度比（%）</td><td>54</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>4</td><td>ボランティア団体会員募集</td><td>・会員募集をしている登録団体の活動状況をまとめた冊子作成しました。
<table>
<tr><th>年度</th><th>冊子掲載団体数（団体）</th></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>108</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>83</td></tr>
<tr><td>前年度比（%）</td><td>130</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

３．ボランティアのきっかけづくり事業

<table>
<tr><th></th><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>1</td><td>はじめてのボランティア説明会
 </td><td>・ボランティア活動希望者にボランティアの基礎知識、心構えを伝え、保険や活動を紹介しました。
<table>
<tr><th>年度</th><th>開催回数（回）</th><th>参加人数（名）</th></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>33</td><td>75</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>24</td><td>52</td></tr>
<tr><td>前年度比（%）</td><td>138</td><td>144</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

2	サマーチャレンジ	・夏休み期間に学生（高校生、大学生、専門学校生等）のボランティア活動体験の機会を提供しました。

年度	活動メニュー数	参加人数（名）
令和 6	10	延べ 132
令和 5	12	延べ 110
前年度数（%）	83	120

メニュー		日付	参加人数（名）	協力
障害者スポーツを楽しもう	⑴SS ピンポン	令和 6 年 8 月 1 日	12	三重県 SS ピンポン協会
		令和 6 年 8 月 21 日	8	
	⑵ボッチャ	令和 6 年 8 月 18 日 AM	15	ボッチャサークルコロコロ四日市
		令和 6 年 8 月 18 日 PM	12	
海岸を豊かにする活動に参加しよう		令和 6 年 7 月 28 日 ※学習会	8	NPO 法人四日市ウミガメ保存会
		令和 6 年 8 月 4 日 ※海岸清掃	10	
高齢者とふれあおう	⑴みえ川村老健	令和 6 年 7 月 25 日	2	みえ川村老健
		令和 6 年 8 月 6 日	1	
		令和 6 年 8 月 10 日	1	
	⑵よっかいち諧朋苑	令和 6 年 8 月 2 日	2	よっかいち諧朋苑
		令和 6 年 8 月 16 日	1	
		令和 6 年 8 月 24 日	10	
		令和 6 年	2	

子どもたちと遊ぼう	⑴北部児童館	7月25日		北部児童館
		令和6年7月26日	1	
		令和6年7月31日	2	
		令和6年8月6日	2	
		令和6年8月10日	2	
		令和6年8月14日	1	
		令和6年8月15日	2	
		令和6年8月16日	3	
		令和6年8月17日	2	
		令和6年8月19日	2	
		令和6年8月20日	2	
		令和6年8月22日	1	
		令和6年8月26日	2	
	⑵塩浜児童館	令和6年8月9日	2	塩浜児童館
		令和6年8月10日	1	
		令和6年8月17日	1	
		令和6年8月19日	1	
	⑶こどもの家	令和6年8月24日	2	こどもの家
	⑷おもちゃ図書館	令和6年7月24日	1	おもちゃ図書館
		令和6年8月1日	2	

			令和6年 8月7日	2	
			令和6年 8月8日	2	
			令和6年 8月14日	2	
			令和6年 8月15日	2	
			令和6年 8月21日	2	
			※令和6年8月28日 台風接近のため中止		
		⑸まなびや	令和6年 8月22日	6	

4．人育て（人材育成）事業

	項目	内容
1	地域拠点ボランティア講座	・地域活動のきっかけづくりや地域で活動している人の学ぶ機会として、地域拠点での「まなびや」を開催しました ・企業や団体と連携した「まなびや」を開催しました。

年度	開催回数（回）	参加人数（名）
令和6	13	167
令和5	15	165
前年度比（%）	87	101

日付	内容	講師
令和6年 4月30日 （富田）	ミニトートバッグ作り	児童館職員
令和6年 5月21日 （富田）	ヨガ教室	ヨガインストラクター
令和6年 6月25日	介護保険制度の話	富田在宅介護支援センター

<table>
<tr>
<td></td>
<td>

 </td>
<td>
<table>
<tr><td>（富田）</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>令和 6 年
7 月 23 日
（富田）</td><td>悪徳商法の手口や対処法について</td><td>全国消費生活相談員協会</td></tr>
<tr><td>令和 6 年
8 月 20 日
（富田）</td><td>キャンディ型シャカシャカキーホルダーを作ろう</td><td>児童館職員</td></tr>
<tr><td>令和 6 年
8 月 22 日
（下野）</td><td>キャンディ型シャカシャカキーホルダーを作ろう</td><td>児童館職員</td></tr>
<tr><td>令和 6 年
9 月 24 日
（富田）</td><td>防災講座＋炊き出し体験</td><td>NPO 法人みえ減災啓発支援ネット</td></tr>
<tr><td>令和 6 年
10 月 29 日
（富田）</td><td>さつまいも入りの五平餅作り</td><td>栄養士</td></tr>
<tr><td>令和 6 年
11 月 19 日
（富田）</td><td>認知症講座＆認知症かるた＆認知症予防運動</td><td>三重県立看護大学</td></tr>
<tr><td>令和 6 年
12 月 24 日
（富田）</td><td>お正月飾り作り</td><td>児童館職員</td></tr>
<tr><td>令和 7 年
1 月 21 日
（富田）</td><td>肉の部位、選び方などの話</td><td>三重県食肉生活衛生同業組合</td></tr>
<tr><td>令和 7 年
2 月 25 日
（富田）</td><td>たこ焼き作り</td><td>三重県料理業生活衛生同業組合</td></tr>
<tr><td>令和 7 年
3 月 18 日
（富田）</td><td>アロマオイルを使ったオイルペン作り、セルフケア(ハンドマッサージ)</td><td>ケアビューティスト</td></tr>
</table>
</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>障害者スポーツボランティア講座
 </td>
<td>・年齢、性別、障害の有無に関係なく交流できるスポーツを体験できる場を開催しました。
・関係機関や団体との連携、企業への情報提供等、多様なセクションが交流できる場として開催しました。
<table>
<tr><th>年度</th><th>開催回数（回）</th><th>参加人数（名）</th></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>2</td><td>267</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>2</td><td>237</td></tr>
<tr><td>前年度比（%）</td><td>100</td><td>113</td></tr>
</table>
</td>
</tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td> </td><td>
<table>
<tr><th>日付</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>令和 6 年 12 月 1 日
第 6 回 SS ピンポン クスノキ杯</td><td>SS ピンポンを通した交流</td></tr>
<tr><td>令和 7 年 2 月 22 日　ボランティアキャンペーンプレ ボッチャ交流大会</td><td>ボッチャを通した交流</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>3</td><td>地域福祉教育推進事業</td><td>・小・中・高等学校の児童・生徒対象に、福祉に関する知識や学びの機会に必要な講師派遣やプログラムの提案を、福祉教育を実践する学校と協議しながら行いました。
<table>
<tr><th>年度</th><th>開催回数（回）</th></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>20</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>20</td></tr>
<tr><td>前年度比（%）</td><td>100</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

5．活動支援事業

<table>
<tr><th></th><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>1</td><td>ボランティア保険</td><td>・ボランティアが安心して活動できるよう、ボランティア活動保険の加入促進、手続き支援、事故時の事務手続きを行いました。
<table>
<tr><th>加入手続き（件）</th><th>令和 6</th><th>令和 5</th><th>前年度比（%）</th></tr>
<tr><td>活動保険</td><td>2,539</td><td>2,311</td><td>110</td></tr>
<tr><td>行事用保険</td><td>454</td><td>307</td><td>148</td></tr>
<tr><td>福祉サービス総合補償</td><td>31</td><td>32</td><td>97</td></tr>
<tr><td>送迎サービス補償</td><td>29</td><td>27</td><td>107</td></tr>
</table>
<table>
<tr><th>事故対応（件）</th><th>令和 6</th><th>令和 5</th><th>前年度比（%）</th></tr>
<tr><td>活動保険</td><td>4</td><td>10</td><td>40</td></tr>
<tr><td>行事用保険</td><td>4</td><td>1</td><td>400</td></tr>
<tr><td>福祉サービス総合補償</td><td>4</td><td>0</td><td>―</td></tr>
<tr><td>送迎サービス補償</td><td>1</td><td>0</td><td>―</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>2</td><td>活動支援</td><td>・全国ボランティアフォーラム、三重ボランタリーフォーラム等先進的な活動を学ぶ機会への参加支援については、全国ボランティアフォーラム開催地が東北のため、希望者はいませんでした。また、三重ボランタリーフォーラム参加についても希望者はいませんでした。</td></tr>
</table>

６．協働事業

<table>
<tr><th></th><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>1</td><td>四日市ボランティアキャンペーン
 </td><td>・幅広い世代、様々な分野のボランティアや企業と連携し、ボランティア活動の魅力を発信しました。
・期間中、さまざまな団体と協働で活動体験プログラムを実施しました。
・運営委員会を組織し、ボランティアの協力を得て一部事業を企画しました。
・学生ボランティア、企業、団体等との協働
・期間：３月４日～３１日

ボランティアキャンペーン展示
<table>
<tr><th>年度</th><th>開催日数（日間）</th><th>参加人数（名）</th></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>2</td><td>103</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>3</td><td>169</td></tr>
<tr><td>前年度比（%）</td><td>67</td><td>61</td></tr>
</table>
活動メニュー
<table>
<tr><th>年度</th><th>メニュー数</th><th>参加人数（名）</th></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>9</td><td>38</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>5</td><td>32</td></tr>
<tr><td>前年度比（%）</td><td>180</td><td>119</td></tr>
</table>
<table>
<tr><th>日付</th><th>内容</th><th>講師</th><th>参加人数（名）</th></tr>
<tr><td>令和 7 年 3 月 2 日</td><td>海岸を豊かにする活動に参加しよう</td><td>NPO 法人四日市ウミガメ保存会</td><td>5</td></tr>
<tr><td>令和 7 年 3 月 7 日</td><td>障害者施設利用者さんと交流しよう</td><td>あさけワークス</td><td>2</td></tr>
<tr><td>令和 7 年 3 月 9 日</td><td>募金活動に参加しよう</td><td>四日市市社会福祉協議会</td><td>4</td></tr>
<tr><td>令和 7 年 3 月 11 日</td><td>SS ピンポンを楽しもう</td><td>三重県 SS ピンポン協会</td><td>0</td></tr>
<tr><td>令和 7 年 3 月 14 日</td><td>カフェサロンのお手伝いをしよう</td><td>ふれあいサロンほっと</td><td>2</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

		令和7年3月15日	よく飛ぶ紙飛行機講座	シニアサークル「男の囲炉裏端」の会	5
		令和7年3月16日	防災について学ぼう	NPO法人みえ減災啓発支援ネット	10
		令和7年3月20日	障害者施設利用者さんと交流しよう	清和苑	3
		令和7年3月23日	ウォーキングしながら公園クリーン大作戦	NPO法人緑の会羽津	7

2　ボランティアのつどい

・市内の活動者や団体の学習、交流、情報交換の機会を設けました。

・ボランティアセンターや団体同士のつながり強化の機会を設けました。

年度	開催回数（回）	参加人数（名）	
令和6	2回	第1回:27 第2回:17	計44
令和5	2回	第1回:30 第2回:42	計72
前年度比（%）	100	第1回目:90 第2回目:40	61

※住民主体サービス実施団体連絡協議会と合同開催

日付	内容	講師
令和6年11月26日	合言葉はいつもしも。～地域の連携を福祉力・防災力の視点から考えよう（四社協福祉ゼミナールと合同開催）～	(一社)FEEL Do 代表理事 桒原　秀文氏
令和7年1月18日	仲間を増やす想いの伝え方講座～効果的なチラシの作り方を学ぼう～	(株)デルタスタジオ 森角　紗羅氏 濱口　亜寿香氏

<table>
<tr><td>3</td><td>コーディネートを考える会議</td><td>・送り出し・受け入れ・中間支援それぞれの関係者からボランティアセンターへのアドバイスを受ける機会を設けました。<table><tr><th>年度</th><th>開催回数（回）</th></tr><tr><td>令和 6</td><td>2</td></tr><tr><td>令和 5</td><td>2</td></tr><tr><td>前年度比（%）</td><td>100</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>4</td><td>学生ボランティア連携事業</td><td>・学校等とのつながり継続のための事業や活動の連携を取りました。
・福祉教育等でつながった学校等に個別にボランティア説明会を実施しました。結果、学生にサマーチャレンジやボランティアキャンペーン、障害者スポーツボランティア講座に参加してもらうことができました。</td></tr>
</table>

２－２－２１　成年後見サポート事業

担当課：地域福祉課

市受託事業

まとめ（事業の総括）	成年後見制度利用促進法に基づく中核機関として成年後見サポートセンターを設置、成年後見制度の広報啓発、相談対応、成年後見人等が選任されるまでの支援を実施しました。また法人受任の特性を活かし法人で後見人等を受任するとともに、日常生活自立支援事業から判断能力が低下し成年後見制度の利用が必要な事案における連携した取り組みができるように事業を推進しました。
決算額	３２，３６３，２２７円
主な財源	市受託金、事業収入

１．成年後見サポートセンター

<table>
<tr><th></th><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>1</td><td>相談援助</td><td>・成年後見制度利用に関する相談窓口となるとともに、成年後見人等が選任までの期間で生活に支障がないよう多機関の協力をもとにサポートを実施しました。
・相談員配置人数：３名
●相談支援件数（件）
<table>
<tr><th>年度</th><th>訪問</th><th>電話</th><th>来所</th><th>代行等</th><th>合計</th></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>107</td><td>268</td><td>24</td><td>198</td><td>597</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>173</td><td>387</td><td>58</td><td>574</td><td>1,192</td></tr>
<tr><td>前年度比（%）</td><td>61</td><td>69</td><td>41</td><td>34</td><td>50</td></tr>
</table>
●後見人支援件数（件）
<table>
<tr><th>年度</th><th>訪問</th><th>電話</th><th>来所</th><th>代行等</th><th>合計</th></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>16</td><td>10</td><td>3</td><td>8</td><td>37</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>8</td><td>21</td><td>17</td><td>8</td><td>54</td></tr>
<tr><td>前年度比（%）</td><td>200</td><td>47</td><td>17</td><td>100</td><td>68</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>2</td><td>中核機関運営協議会</td><td>・中核機関としての専門職と行政からの意見集約をする運営協議会を開催しました。事業方針等についての指導・助言等を受け、成年後見サポート事業の適切な運営の推進を図りました。
・運営委員：専門職委員５名、行政担当委員４名
<table>
<tr><th>年度</th><th>会議回数（回）</th><th>検討ケース数（件）</th></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>6</td><td>40</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td></td><td><table><tr><td>令和 5</td><td>6</td><td>36</td></tr><tr><td>前年度比（%）</td><td>100</td><td>111</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>3</td><td>啓発事業</td><td>・ホームページ、パンフレットの更新をするとともに、福祉専門職むけ情報紙を作成し、相談窓口としての機能の啓発を行いました。

<table><tr><td>年度</td><td>出前講座数</td><td>広報発行回数（回）</td></tr><tr><td>令和 6</td><td>6</td><td>2</td></tr><tr><td>令和 5</td><td>1</td><td>2</td></tr><tr><td>前年度比（%）</td><td>600</td><td>100</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>4</td><td>三士会会議</td><td>・専門職団体（弁護士、司法書士、社会福祉士）と連携会議を行い、四日市市における成年後見制度利用促進の課題の情報共有と協議を行いました。

<table><tr><td>日付</td><td>検討事項</td><td>参加人数（名）</td></tr><tr><td>令和 6 年
6 月 12 日</td><td>第 1 回親族後見人つどい、専門職アンケートから専門職への業務依頼</td><td>5 名（弁護士 1、司法書士 2、社会福祉士 2）</td></tr><tr><td>令和 7 年
1 月 22 日</td><td>第 2 回親族後見人のつどい、被後見人マイナ保険証の現状</td><td>4 名（弁護士 1、司法書士 2、社会福祉士 1）</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>5</td><td>親族後見人のつどい</td><td>・後見人を受任された親族の方や後見制度を利用検討中の親族を対象とした相談会の機会を専門職団体の協力のもと開催しました。

<table><tr><td>日付</td><td>テーマ・講師</td><td>参加人数
（名）</td></tr><tr><td>令和 6 年
9 月 18 日</td><td>テーマ：「事例で学ぶ成年後見人の役割」
講師：司法書士　船橋　慎二氏</td><td>8</td></tr><tr><td>令和 7 年
2 月 19 日</td><td>テーマ：「成年後見制度の概要」
講師：弁護士　西村　和晃氏</td><td>8</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>6</td><td>市民後見サポーター養成</td><td>・日常生活自立支援事業の生活支援員や法人後見の支援員として活躍できる権利擁護関係のマンパワー人材養成の機会として、後見ゼミナールを開催しました。
（2－2地域福祉拠点区分 2－2－19ふれあいのまちづくり事業 5. 四日市市福祉教育大学 3専門ゼミナール 参照）</td></tr>
</table>

２．地域後見サポート事業

<table>
<tr><th></th><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>1</td><td>法人後見受任</td><td>・専門職が後見人を受任することが難しい対応困難ケースを中心に、法人として後見人等を受任し支援を実施しました。日常生活自立支援事業から判断能力が低下しても連続して支援できる仕組みに取り組みました。
<table>
<tr><th>年度</th><th>新規受任数（件）</th><th>解約数（件）</th><th>受任者数（総数）</th></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>7</td><td>7</td><td>29</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>3</td><td>1</td><td>28</td></tr>
<tr><td>前年度比（%）</td><td>233</td><td>700</td><td>103</td></tr>
</table>
<table>
<tr><th>年度</th><th>後見</th><th>保佐</th><th>補助</th></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>24</td><td>4</td><td>1</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>24</td><td>3</td><td>1</td></tr>
<tr><td>前年度比（%）</td><td>100</td><td>133</td><td>100</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>2</td><td>法人後見アドバイザー会議</td><td>・受任したケースの法律的な見解や監督機能として助言、検討を行う機関として開催しました。
・アドバイザー数：弁護士１名、社会福祉士１名
<table>
<tr><th>年度</th><th>会議回数（回）</th><th>検討ケース数（件）</th></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>12</td><td>52</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>11</td><td>37</td></tr>
<tr><td>前年度比（%）</td><td>109</td><td>140</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

２－２－２２　おもちゃ図書館運営事業

担当課：地域福祉課

事業所名：おもちゃ図書館

市受託事業

まとめ(事業の総括)	障害の有無に関わらず「おもちゃ」を通じて子どもたちの情操や知的・身体機能を高める機会を提供できました。また、おもちゃ図書館まつりや移動おもちゃ図書館を実施することで、子どもを育てる親の支援を行うことができました。
決算額	１，７５４，１９０円
主な財源	市受託金

１．おもちゃ図書館運営事業

<table>
<tr><th></th><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>1</td><td>おもちゃ図書館</td><td>・月～金　常設で開館
<table>
<tr><th>年度</th><th>開所日数（日）</th><th>延べ来館者数（名）</th></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>228</td><td>4,653</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>216</td><td>4,403</td></tr>
<tr><td>前年度比（%）</td><td>106</td><td>106</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>2</td><td>移動おもちゃ図書館</td><td>・おもちゃ図書館を市内の子育て支援センター等で開設しました。
・常設で人気のおもちゃや手作りおもちゃを運び、移動先でふれあいの場として開設しました。
<table>
<tr><th>年度</th><th>開催回数（回）</th><th>延べ参加人数（名）</th></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>8</td><td>225</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>9</td><td>323</td></tr>
<tr><td>前年度比（%）</td><td>89</td><td>70</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>3</td><td>おもちゃ図書館まつり</td><td>・広いスペースに手作りおもちゃや人気のおもちゃを運び、たくさんの親子のふれあいの場を開設しました。
・手遊び・ふれあい遊びを実施しました。
<table>
<tr><th>年度</th><th>開催回数（回）</th><th>参加人数（名）</th></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>1</td><td>124</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>1</td><td>147</td></tr>
<tr><td>前年度比（%）</td><td>100</td><td>84</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

２－２－２３　生活支援コーディネーター事業

担当課：地域福祉課

市受託事業

まとめ(事業の総括)	地域包括ケア推進の為に各地区で実施している地域ケア会議に参加するとともに、住民主体サービスが継続して総合事業を実施できるように地域、福祉関係者との調整に努めました。住民主体サービス未設置地区については地区に働きかけをすすめるとともに、地域福祉活動計画の作成にあたり、各地区からの聞き取りと、福祉懇談会の開催をすすめました。社会資源の整理を行うとともに福祉課題を発見しマンパワー不足、家族機能、地域機能の強化といった課題について、地域や福祉関係者と連携をとりながら取り組みました。
決算額	２３，７６３，１１８円
主な財源	市受託金

１．生活支援コーディネーター事業

<table>
<tr><th></th><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>1</td><td>ソーシャルアクション</td><td>・見守りネットワーク会議、地域ケア会議等を通じて地域の福祉課題解決にむけての新しい取り組みを調査研究し、新しい仕組みを地域ケア会議で協議しました。
・テーマ１：「身寄りのない方の支援について」
・テーマ２：「新しい地域の助け合いの形」</td></tr>
<tr><td>2</td><td>地域包括ケア促進</td><td>・市単位、ブロック単位、地区単位の協議体会議に参加、協議体における福祉課題について整理するとともに、福祉活動の状況を整理し情報提供を実施しました。
<table>
<tr><th>年度</th><th>住民主体サービス
（件）</th><th>地域ケア会議
（回）</th></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>47</td><td>98</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>42</td><td>100</td></tr>
<tr><td>前年度比（%）</td><td>111</td><td>98</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>3</td><td>入院入所サポート事業</td><td>・身寄りがない方の入退院、施設入所時における課題は、医療福祉関係者はもちろんそれを支える地域住民にとっても共通の課題になっていました。身寄りのない方の入院入所時のセーフティネットの事業として緊急連絡や必要な支払い等のサポートを実施しました。
<table>
<tr><td>（実人数）</td><td>入院入所支援（件）</td></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>228</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>264</td></tr>
<tr><td>前年度比（%）</td><td>86</td></tr>
</table>
●相談支援件数(件)
<table>
<tr><td>年度</td><td>訪問</td><td>電話</td><td>来所</td><td>代行等</td><td>合計</td></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>685</td><td>1,005</td><td>48</td><td>1,299</td><td>3,037</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>734</td><td>1,235</td><td>77</td><td>4,285</td><td>6,331</td></tr>
<tr><td>前年度比（%）</td><td>93</td><td>81</td><td>62</td><td>30</td><td>47</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

２－２－２４　ふれあいいきいきサロン推進事業

担当課：地域福祉課

市受託事業

<table>
<tr><td>まとめ(事業の総括)</td><td>①コロナ禍を経て、サロン活動数を目標値に近づけることができました。専門ゼミナールの機会を用いて、活動者がサロン活動を継続するモチベーションや目的を共有することができました。
②サロン連絡会や企業と連携した出前講座等の機会でサロン活動者や利用者と意見交換を行うことで、地域福祉活動のリーダーの養成を行いました。</td></tr>
<tr><td>決算額</td><td>４８，７２０，３１０円</td></tr>
<tr><td>主な財源</td><td>市受託金</td></tr>
<tr><td>サロン連絡会</td><td>
<table>
<tr><td>年度</td><td>開催回数（回）</td></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>42</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>41</td></tr>
<tr><td>前年度比（%）</td><td>102</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

１．ふれあいいきいきサロン推進事業

<table>
<tr><th></th><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>1</td><td>ふれあいいきいきサロン推進</td><td>・介護予防、認知症予防、地域のつながりづくりを目標に、歩いていける場所で集える機会として、ふれあいいきいきサロン事業を推進し、市内６７０カ所のサロンの組織化を目指しました。
<table>
<tr><th>年度</th><th>サロン数</th><th>延べ参加人数（名）</th></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>660</td><td>305,866</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>645</td><td>301,621</td></tr>
<tr><td>前年度比（%）</td><td>102</td><td>101</td></tr>
</table>
・サロン連絡会を開催して各サロンの取り組み等について、意見交換を行いました。
<table>
<tr><th>年度</th><th>連絡会開催回数（回）</th></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>42</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>41</td></tr>
<tr><td>前年度比（%）</td><td>102</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>2</td><td>ふれあいいきいきサロン推進委託事業</td><td>・ふれあいいきいきサロン推進事業委託金要綱に基づき活動団体に助成を行いました。
・サロン形態を分類し、それぞれの特徴を活かした取り組みを推進しました。</td></tr>
<tr><td>3</td><td>ふれあいいきいきサロン推進委託事業（加算事業）</td><td>・推進したい小地域福祉活動をメニュー化し、加算の委託事業加算として助成して活動を促しました。
<table>
<tr><th></th><th>令和 6</th><th>令和 5</th><th>前年度比（%）</th></tr>
<tr><td>加算利用サロン数</td><td>585</td><td>538</td><td>109</td></tr>
</table>
<table>
<tr><th></th><th>令和 6</th><th>令和 5</th><th>前年度比（%）</th></tr>
<tr><td>企画運営加算件数</td><td>154</td><td>146</td><td>105</td></tr>
<tr><td>介護予防強化メニュー加算件数</td><td>133</td><td>119</td><td>112</td></tr>
<tr><td>拠点運営加算件数</td><td>7</td><td>7</td><td>100</td></tr>
<tr><td>地域お助け加算件数</td><td>269</td><td>248</td><td>108</td></tr>
<tr><td>送迎加算件数</td><td>20</td><td>16</td><td>125</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>4</td><td>お互い様活動推進事業</td><td>・ふれあいいきいきサロンのメンバー同士で助け合い活動を実施し、マンパワーを養成するとともに地域で支えあう仕組みを推進しました。
<table>
<tr><td>年度</td><td>加算利用サロン数</td><td>延べお互い様活動件数（件）</td></tr>
<tr><td>令和６</td><td>8</td><td>830</td></tr>
<tr><td>令和５</td><td>8</td><td>970</td></tr>
<tr><td>前年度比（%）</td><td>100</td><td>86</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

２－２－２５　介護予防等拠点施設管理運営事業

担当課：地域福祉課

事業所名：介護予防等拠点施設

市受託事業

まとめ(事業の総括)	高齢者の生活機能の維持・向上や認知症の人と家族に対する支援を目的として設置されている施設の管理・運営を適正に実施しました。
決算額	１０，３６５，９０６円
主な財源	市受託金

１．介護予防等拠点施設管理運営事業

	項目	内容
1	施設・設備等の維持管理	・設備等に関する保守管理、定期的な清掃業務、備品管理
2	案内業務	・来館者の案内、電話応対等
3	老人クラブの活動支援	・四日市市老人クラブ連合会開催行事等の活動支援
4	介護予防講座の運営補助	・施設内で四日市市が主催する介護予防講座の会場設営、受付等の補助業務

２－２－２６　食品ロスマッチング事業

担当課：地域福祉課

市受託事業

まとめ(事業の総括)	まだ食べられるのに捨てられる食品を、必要としているところへマッチングさせる事業を通して、地域課題や福祉課題の解決を進める取り組みを進めました。市民・民生委員児童委員・企業からご寄付いただき、子ども食堂等の食支援団体や生活困窮家庭に配布できる仕組みを作りました。
決算額	５，９８３，２０２円
主な財源	市受託金

１．食品ロスマッチング事業

<table>
<tr><th></th><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>1</td><td>つなげる窓口の設置</td><td>・フードバンクコーディネーターを配置するとともに、食品ロスになってしまう食材を集める窓口を設置し、対象食品を集め、集めた食材を有効活用できるようにコーディネートを行いました。
<table>
<tr><th>年度</th><th>件数（件）</th><th>重さ（kg）</th></tr>
<tr><td>令和６</td><td>170</td><td>5,479</td></tr>
<tr><td>令和５</td><td>145</td><td>2,582</td></tr>
<tr><td>前年度比（%）</td><td>117</td><td>212</td></tr>
</table>
<table>
<tr><th>年度</th><th>企業（件）</th><th>市民（件）</th><th>民生（件）</th><th>イベント（件）</th></tr>
<tr><td>令和６</td><td>39</td><td>84</td><td>44</td><td>3</td></tr>
<tr><td>令和５</td><td>33</td><td>46</td><td>66</td><td>1</td></tr>
<tr><td>前年度比（%）</td><td>118</td><td>183</td><td>67</td><td>300</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>2</td><td>食支援活動団体マッチング事業</td><td>・子ども食堂等、食事や食料の提供をする団体を食支援活動団体として登録いただき、団体向けの配布会を通じて、窓口で集まった食材の提供を行いました。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td></td><td>
<table>
<tr><td>年度</td><td>件数（件）</td><td>重量（kg）</td></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>103</td><td>2,374</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>93</td><td>2,407</td></tr>
<tr><td>前年度比
（%）</td><td>111</td><td>99</td></tr>
</table>
・食品のマッチングに関する連絡協議会の開催
　食品の受け入れ･マッチング状況報告及び情報交換のため、食支援活動団体、企業の方を交えた会議を開催し、効果的な啓発方法等の検討を行いました。
●第１回　令和６年８月１９日
●第２回　令和７年３月１０日
</td></tr>
<tr><td>３</td><td>食品ロス啓発事業</td><td>
・食品ロスの啓発事業を進めるため啓発ホームページの作成やノベルティや啓発パネルを作成しました。地域イベント等で活用し食品ロスの啓発とフードドライブを３回実施しました。
<table>
<tr><td>日付</td><td>イベント名</td></tr>
<tr><td>令和 6 年
5 月 12 日</td><td>民生委員児童委員啓発活動の日
PR 活動</td></tr>
<tr><td>令和 6 年
10 月 10 日</td><td>民生委員児童委員
研究事業部</td></tr>
<tr><td>令和 7 年
3 月 15・16 日</td><td>ボランティアキャンペーン</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

２－３　障害福祉拠点区分

２－３－２７　視覚障害者福祉センター運営事業

担当課：福祉支援課

事業所名：視覚障害者福祉センター
市補助事業

まとめ(事業の総括)	市内在住の視覚障害者を対象として、各種講習会を開催するとともに、自主活動の場を提供することにより、視覚障害者の自立と社会参加を支援しました。
決算額	２，１０３，４１６円
主な財源	市補助金

１．視覚障害者福祉センター運営事業

	項目	内容
1	点訳業務	・希望する視覚障害者への情報提供として、市や障害者団体等から発行される印刷物等の点訳　１０８件
2	三療学術講習会	・はり・灸・マッサージを職業としている視覚障害者を対象とし、技術の向上を目的に開催しました。 開催日：令和７年２月１３日　　参加人数：８名 テーマ：肩関節と膝関節のモビライゼーション 講　師：三重県立盲学校教員、三重県視覚障害者協会理事西方　繫春氏
3	安全安心講習会	・視覚障害者が安全安心に自立した日常生活を送ることを目的に開催しました。 開催日：令和６年８月２９日　　参加人数：１２名 テーマ：成年後見制度について学ぶ。 講　師：四社協地域福祉課職員
4	防災講習会	・視覚障害者が自然災害、防災についての基本知識を身に付け、命を守ることを目的に開催しました。 開催日：令和６年９月１２日　　参加人数：１１名 テーマ：能登被災地の現状を学ぶ。 講　師：四社協福祉支援課職員
5	障害者団体活動の場の提供	・市内の視覚障害者及び四日市市視覚障害者協会会員を対象とした、自立と社会参加のための活動の場の提供をしました。 年間利用者数：３９８名

２－３－２８　障害者就業・生活支援センタープラウ運営事業

担当課：福祉支援課

事業所名：四日市障害者就業・生活支援センタープラウ

三重労働局・三重県受託事業

<table>
<tr><td>まとめ(事業の総括)</td><td>①障害者の職業生活における自立を図るため、雇用、保健、福祉、教育等の関係機関との連携の下、障害者の身近な地域において就業面及び生活面における一体的な相談支援を行いました。
②企業に対して障害者雇用の相談・助言を行い、障害者の雇用の促進及び安定を図りました。
・登録者状況（名）
<table>
<tr><th>身体障害</th><th>知的障害</th><th>精神障害</th><th>その他</th><th>合計</th></tr>
<tr><td>72</td><td>378</td><td>335</td><td>49</td><td>834</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>決算額</td><td>４２，３８２，８０８円</td></tr>
<tr><td>主な財源</td><td>国受託金、県受託金</td></tr>
</table>

１．就業・生活の相談・支援

<table>
<tr><th></th><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>1
2</td><td>就業相談支援
生活相談支援</td><td>・就業及びそれに伴う日常生活の相談・支援
●相談内容別延べ相談件数（件）
<table>
<tr><th></th><th>身体障害</th><th>知的障害</th><th>精神障害</th><th>その他</th><th>合計</th></tr>
<tr><td>就職</td><td>103</td><td>648</td><td>1,028</td><td>103</td><td>1,882</td></tr>
<tr><td>職場定着</td><td>105</td><td>1,309</td><td>985</td><td>127</td><td>2,526</td></tr>
<tr><td>日常生活</td><td>14</td><td>133</td><td>104</td><td>8</td><td>259</td></tr>
<tr><td>就業と生活の両方</td><td>8</td><td>255</td><td>235</td><td>22</td><td>520</td></tr>
<tr><td>合計</td><td>230</td><td>2,345</td><td>2,352</td><td>260</td><td>5,187</td></tr>
</table>
●ツール別延べ相談件数（件）
<table>
<tr><th>来所</th><th>電話･文書メール</th><th>家庭、入所施設訪問</th><th>職場訪問</th><th>その他</th><th>合計</th></tr>
<tr><td>876</td><td>3,048</td><td>34</td><td>1,001</td><td>228</td><td>5,187</td></tr>
</table>
●就職人数（名）
<table>
<tr><th>身体障害</th><th>知的障害</th><th>精神障害</th><th>その他</th><th>合計</th></tr>
<tr><td>6</td><td>31</td><td>33</td><td>6</td><td>76</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td></td><td>
●事業主への相談支援件数（内容別）（件）
<table>
<tr><th>雇用</th><th>職場適応・職場定着</th><th>雇用者の生活面</th><th>雇用支援制度</th><th>合計</th></tr>
<tr><td>437</td><td>1,363</td><td>18</td><td>4</td><td>1,882</td></tr>
</table>
・在職者を対象に悩みの共有やストレス解消を目的に交流会や勉強会を実施しました。
<table>
<tr><th>日付</th><th>内　容</th><th>参加人数（名）</th></tr>
<tr><td>令和6年6月29日</td><td>自分も相手も大切にするためのコミュニケーション講座</td><td>30</td></tr>
<tr><td>令和6年9月29日</td><td>体と心を整えるやさしいヨガ講座</td><td>20</td></tr>
<tr><td>令和6年12月15日</td><td>アートのつどい</td><td>27</td></tr>
<tr><td>令和7年1月19日</td><td>ピアサポート活動</td><td>13</td></tr>
</table>
・在職者の職場への定着を促進するため、企業担当者を対象とした研修会を開催しました。
日時：令和７年２月１３日（木）
講師：三重県自閉症･発達障害支援センターあさけ 松本 知子氏
内容：発達障害の説明、支援事例の紹介、グループワーク
参加者：１７社２１名
</td></tr>
</table>

２．関係機関との連携

	項目	内容
1	四日市障害保健福祉圏域自立支援協議会（雇用部会）の運営	・四日市障害保健福祉圏域自立支援協議会の専門部会である雇用部会において、各関係機関とのネットワークの構え築と障害者の雇用に関わる地域課題の共有と解決に向けた協議、地域啓発の取り組みを行いました。 （参加機関） 三重障害者職業センター、三重県障がい者雇用･就労促進課、北勢福祉事務所、四日市公共職業安定所、一市三町障害福祉課、市商業労政課、学校関係、医療関係、就労移行支援事業所、当事者団体等23機関。 雇用部会 ：4回、雇用部会準備会：4回、企業開拓ワーキンググループ：5回、就労継続支援A型事業所連絡会 ：3回
2	障害者雇用サポートフェア	・障害者雇用促進と職場定着を目的に、市内事業所の方を対象に障害者雇用実績のある企業見学会と支援機関の紹介等を行う障害者雇用促進のイベントを市主催で開催、その協力。 開催日：令和６年１０月２０日

		内容：企業・就労移行支援事業所見学、障害者雇用関係機関の紹介、マッチングサポート 参加企業：１４社２１名。参加関係機関：１５機関２９名。

２－３－２９　ワークセンター運営事業

担当課：福祉支援課

事業所名：障害者就労支援事業ワークセンター

市受託事業

まとめ(事業の総括)	①就労を希望する障害者を対象に、就労にむけた職場訓練とともに、職業準備性向上のための支援を行いました。 ②企業等に対する障害者就労の啓発を行いました。 ③訓練機会の提供及び社会との交流の促進を図る支援を行いました。
決算額	１０，７５６，７６９円
主な財源	市受託金

１．ワークセンター運営事業

<table>
<tr><th></th><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>1</td><td>障害者就労支援事業</td><td>・就労にむけた職場訓練
・職場訓練後のステップアップ支援
・職場訓練後の状況
一般就労　３名、就労継続支援Ｂ型事業所　１名、
休職中　　４名
<table>
<tr><th>区分</th><th>身体障害</th><th>知的障害</th><th>精神障害</th><th>合計</th></tr>
<tr><td>延人数</td><td>0</td><td>2</td><td>6</td><td>8</td></tr>
<tr><td>訓練日数</td><td>0</td><td>59</td><td>260</td><td>319</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>2</td><td>地域活動支援センター事業</td><td>・生産活動等の機会の提供や交流の促進
●相談支援
<table>
<tr><th>区分</th><th>身体障害</th><th>知的障害</th><th>精神障害</th><th>合計</th></tr>
<tr><td>延人数</td><td>1</td><td>4</td><td>9</td><td>14</td></tr>
</table>
●支援方法
<table>
<tr><th>区分</th><th>来所</th><th>電話</th><th>メール</th><th>その他</th><th>合計</th></tr>
<tr><td>件数</td><td>337</td><td>12</td><td>12</td><td>4</td><td>365</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

２－４　高齢福祉拠点区分

２－４－３０　中地域包括支援センター　包括支援事業

担当課：福祉支援課

事業所名：中地域包括支援センター

市受託事業

まとめ(事業の総括)	高齢者等が住み慣れた地域で安心して尊厳あるその人らしい生活を継続できるようにするため、介護予防・介護・医療・生活支援等の様々なサービスを状態の変化に応じて切れ目なく利用できるよう包括的・継続的に支援する地域包括ケアの実現を目指し事業を実施しました。
決算額	４３，４６５，０８１円
主な財源	市受託金

１．包括支援事業

<table>
<tr><th></th><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>1</td><td>総合相談支援業務及び権利擁護業務</td><td>・地域におけるネットワーク構築業務、実態把握業務、総合相談業務、権利擁護業務、高齢者虐待への対応、消費者被害の防止、困難事例への対応を行いました。
・相談件数（件）
<table>
<tr><th></th><th>本人</th><th>家族</th><th>その他</th><th>合計</th></tr>
<tr><td>来所</td><td>43</td><td>40</td><td>216</td><td>308</td></tr>
<tr><td>訪問</td><td>6,159</td><td>138</td><td>140</td><td>6,437</td></tr>
<tr><td>電話</td><td>169</td><td>270</td><td>636</td><td>1,075</td></tr>
<tr><td>令和６合計</td><td>6,371</td><td>457</td><td>992</td><td>7,820</td></tr>
<tr><td>令和５合計</td><td>6,159</td><td>434</td><td>956</td><td>7,549</td></tr>
<tr><td>前年度比（%）</td><td>103</td><td>105</td><td>104</td><td>104</td></tr>
</table>
上記のうち、
認知症（疑いを含む）に関する相談件数　年間１，８５７件
高齢者虐待に関する相談　年間５４件</td></tr>
<tr><td>2</td><td>包括的継続的なケアマネジメント支援業務</td><td>・包括的継続的なケア体制の構築
・地域ケア会議の主催及び協力　　年間１８回
・介護支援専門員等に対する個別支援　年間３８５回
・地域包括支援センター連絡会への参加　年間７回
・在宅介護支援センター連絡協議会（ブロック会議）の開催　年間２回
・医療介護ネットワーク会議の開催
世話人会　年間４回　全体会　年間３回</td></tr>
</table>

		・介護サービス事業所との連携 サービス事業者連絡会への参加　年間１１回 ・認知症高齢者等の地域支援体制の構築 （２－４－３２ 中地域包括支援センター 認知症地域支援事業参照）
３	医療介護連携地域ケア会議運営業務	・医療介護連携地域ケア会議の開催　年間４回
４	個別地域ケア会議運営業務	・自立支援型地域ケア会議の開催　年間１２回 ・困難事例等に関する個別地域ケア会議の開催　年間１７回

２－４－３１　中地域包括支援センター　介護予防推進事業

担当課：福祉支援課

事業所名：中地域包括支援センター

市受託事業

まとめ(事業の総括)	住み慣れた地域で、介護予防の為の体操などの取り組みを行うことで、その方らしく、生活が続けられるよう、誰でも一緒に参加することのできる介護予防活動の推進や、活動が継続できるよう取り組みを行いました。 今後も、各地域で介護予防の取り組みが活発に行われるよう、啓発活動に取り組み、地域の方との交流を通じて、楽しく活動が継続できるよう、取り組みを進めていきます。
決算額	１０，３２７，３４３円
主な財源	市受託金

１．介護予防推進事業

	項目	内容
1	介護予防推進事業業務	・自主活動実施の動機づけ（「地域で元気アップ！住民説明会」の実施） 地域の集会所でいきいき百歳体操（以下百歳体操）の体験・説明会の実施…１回 ・自主活動立ち上げのための集中支援…０回 ・自主活動の継続支援（「介護予防講座」の実施） 中地域エリアの団体で取り組んでいる百歳体操のモニタリング訪問を実施…６８回 モニタリング訪問時に百歳体操の技術的指導、各団体において年に１～２回、ご希望に応じて体力測定を実施しました。 また、介護予防講座として、モニタリング訪問時に「骨粗鬆症について」、「膝関節症について」の講話をさせて頂きました。 ・地域への介護予防の普及啓発については、在宅介護支援センターにより開催しました。 〈その他〉 ・各種会議の参加 介護予防事業担当者会議…４回 医療・介護ネットワーク会議…１回 自立支援型地域ケア会議…１回 ・令和６年度　介護予防・フレイル対策市民公開講座 介護予防担当職員として参加。

		・令和６年度　四社協福祉ゼミナール 介護予防担当職員として参加。

２－４－３２　中地域包括支援センター　認知症地域支援事業

担当課：福祉支援課

事業所名：中地域包括支援センター

市受託事業

まとめ（事業の総括）	医療と介護の関係者のネットワークづくりやボランティアの育成、地域住民への啓発等、認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるように認知症の人の視点に立った支援体制の強化に努めました。 今後も、認知症の正しい理解の促進を図るための啓発活動に取り組み、医療と介護の専門職やボランティアを含めた関係者の連携を強化することで、認知症の人が住み慣れた地域で希望をもって自分らしく暮らし続けられるしくみづくりを進めていきます。
決算額	４，６１４，２１９円
主な財源	市受託金

１．認知症地域支援事業

	項目	内容
1	関係者の連携推進	・必要な医療や介護等のサービスが受けられるよう関係機関との連携体制構築、医師とのネットワーク形成 ・認知症疾患医療センター会議　2回 ・医療・介護ネットワーク会議　3回 ・地域ケア会議（地区）　1回 ・自立支援型地域ケア会議　1回 ・認知症ケアパスの作成普及における主導的役割の実施 ・令和6年度は一部改訂のみ。 ・認知症サポーター養成講座や認知症カフェ、啓発イベント等で積極的に配布を行いました。
2	相談支援体制の構築	・知識経験を活かした相談支援の実施 ・認知症カフェや本人ミーティング、認知症当事者や家族のつどいにおいて、必要な情報を提供しました。 ・認知症カフェ　26回 ・本人ミーティング等　15回 ・本人・家族のつどい　4回 ・「認知症初期集中支援チーム」との連携等によるサービス調整

・認知症当事者の意向や特性に応じ、ステップ四日市の活動支援や認知症カフェへの参加等、サービスの提案を行いました。

・認知症カフェ等の取り組みに対する協力支援

・認知症カフェ　26回

・ボランティア座談会　１回

・準備会等　8回

認知症カフェ
（みなと憩いのカフェ）

・認知症に関する理解促進及び支援者育成事業の実施・調整及び協力（認知症サポーター養成講座等）

・認知症サポーター養成講座　17回

・新テキストに準拠したパワーポイントを作成し、中地域ブロック会議、キャラバン・メイト座談会にて講義を行いました。

認知症サポーター養成講座
（北伊勢上野信用金庫）

・市民の理解促進のため市が実施する啓発事業への協力

・認知症市民公開講座等 市主催啓発事業　6回

・ステップ四日市主催啓発事業　1回

・中地域包括支援センター主催啓発事業　1回

認知症啓発イベント
（イオン四日市尾平店）

		・社会参加活動の体制整備 ・本人ミーティング、本人ミーティング振り返り会　15回 ・認知症フレンズ班活動、ステップオレンジ活動　10回 ・当事者活動支援　3回 ・RUN 伴四日市　1回 本人ミーティング （ステップ四日市） 当事者活動支援 （ステップ四日市）

２－４－３３　中地域包括支援センター　認知症初期集中事業

担当課：福祉支援課

事業所名：中地域包括支援センター

市受託事業

まとめ(事業の総括)	認知症になっても本人の意思が尊重され、出来る限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けられるよう、認知症の人やその家族に早期に関わり、見守り体制の構築や適切な医療・介護サービスの利用に向けた支援を行いました。 また、認知症地域支援推進員と連携し、企業や地域活動者と協働で認知症の啓発やもの忘れ相談等を実施しました。 今後も民生委員児童委員や在宅介護支援センター、医療機関、介護保険サービス事業者等の関係機関と連携し、認知症の早期発見・早期対応に向けた支援体制の構築に努めます。
決算額	１１，８０９，２４３円
主な財源	市受託金

１．認知症初期集中支援

	項目	内容
1	支援チームに関する普及啓発	・支援チームの役割や機能等の効果的な普及啓発
2	認知症初期集中支援の実施	・訪問支援対象者の把握、情報収集及び観察評価 ・初回訪問時の支援 ・専門医を含めたチーム員会議の開催 ・初期集中支援の実施 ・引継ぎ後のモニタリング 支援者開始者：２４名　支援終了者１６名 ※相談のみ　１７件 ・チーム員会議　１２回（月１回）
3	もの忘れ相談会の実施	・市民が立ち寄りやすい場所での相談の場の提供 ・支援チーム及び認知症に関する啓発 ・もの忘れ相談の実施 中地域包括支援センター主催認知症啓発事業への参加１回 イオン四日市尾平店での認知症カフェへの参加　６回 ・認知症初期集中支援チーム活動の普及啓発 中地域包括支援センター主催認知症啓発事業への参加１回 地区地域ケア会議での事例紹介・チラシ配布（川島地区）

２－４－３４　介護予防支援事業

担当課：福祉支援課

事業所名：中地域包括支援センター

自主事業

まとめ(事業の総括)	要支援者・事業対象者の認定を受けた方が、可能な限り居宅において、その有する能力に応じて自立した生活を営むことができるようサービス事業者や関係機関との連絡調整等を行い、適切なケアマネジメントを実践しました。
決算額	８５，８９５，２０４円
主な財源	介護保険事業収入

１．介護予防支援事業

	項目	内容
１	介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務	・要支援者・事業対象者に対するケアプランの作成 ・介護予防支援・介護予防ケアマネジメントの実施

年　度	ケアプラン作成件数（件）		内委託件数（件）
令和６	介護予防プラン作成	10,920	3,912
	ケアマネジメントＡ	5,427	1,569
	ケアマネジメントＢ	675	214
	ケアマネジメントＣ	38	37
令和５	介護予防プラン作成	10,600	4,066
	ケアマネジメントＡ	5,424	1,580
	ケアマネジメントＢ	783	119
	ケアマネジメントＣ	62	46

２	関係機関との連携	・介護保険サービス事業者連絡会等への参加

２－４－３５　居宅介護支援事業（ゆりかもめ）

担当課：福祉支援課

事業所名：居宅介護支援事業所ゆりかもめ

自主事業

まとめ(事業の総括)	要介護・要支援の認定を受けた方に対し、可能な限り居宅において、安心した日常生活が送れるようにサービス事業者や関係機関との連絡調整等を行い、適切なケアマネジメントを実践しました。
決算額	１３，１０５，７２２円
主な財源	介護保険事業収入

１．居宅介護支援事業

<table>
<tr><th></th><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>1</td><td>居宅介護支援</td><td>・要介護者・要支援者等の心身状況や置かれている環境等解決すべき課題に応じて福祉サービス利用支援の実施、サービス事業者等との連絡調整等を実施しました。
<table>
<tr><th>年度</th><th>ケアプラン作成件数（件）</th><th>１ヶ月平均件数（件）</th></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>居宅サービス計画作成　620
介護予防プラン作成　331
マネジメント A、B　92</td><td>86.9</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>居宅サービス計画作成　653
介護予防プラン作成　343
マネジメント A、B　62</td><td>88.1</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>前年度比 99%</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>2</td><td>関係機関との連携</td><td>・介護保険サービス事業者連絡会・情報交換会等へ参加しました。
<table>
<tr><th>参加会議・研修名</th><th>参加回数（回）</th></tr>
<tr><td>市介護保険サービス事業者連絡会</td><td>4</td></tr>
<tr><td>楠地区内居宅介護支援事業所情報交換会</td><td>1</td></tr>
<tr><td>(株)ヤマシタ 2024 年度福祉用具法改正研修会</td><td>1</td></tr>
<tr><td>みなみ地域医療・介護ネットワーク会議</td><td>2</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

２－４－３６　介護保険認定調査事業

担当課：福祉支援課

事業所名：介護保険認定調査室

市受託事業

まとめ(事業の総括)	市から受託し要介護認定調査に係る事務の一部を行いました。
決算額	１５，２４１，９１２円
主な財源	市受託金

１．介護保険認定調査事業

<table>
<tr><th></th><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>1</td><td>介護保険認定調査事務</td><td>・市外・県外居住者及び市内施設入所者の介護保険認定調査依頼
・調査票の回収
・委託費の支払い
・調査票の精査
・依頼件数
<table>
<tr><th>年度</th><th>件数</th></tr>
<tr><td>令和 6</td><td>457</td></tr>
<tr><td>令和 5</td><td>495</td></tr>
<tr><td>前年度比（%）</td><td>92</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

３　収益事業

３－１　収益事業拠点区分

３－１－３７　喫茶ふれあい運営事業

担当課：総務課

事業所名：喫茶ふれあい

自主事業

まとめ(事業の総括)	喫茶店（総合会館１階）の経営を行いました。
決算額	１０，７８１，５９９円
主な財源	事業収入

１．喫茶ふれあい運営事業

	項目	内容
1	喫茶ふれあい運営	・メニューの見直し等を随時行い、増収増益に努めました。

年度	営業日数（日）	年間総収入（円）	１日平均利用者数（名）	１日平均売上額（円）
令和６	244	10,079,319	40	41,308
令和５	245	9,127,479	37	37,255
前年度比（%）	99	110	108	110

３－１－３８　総合会館売店運営事業

担当課：総務課

事業所名：総合会館地下売店

市受託事業

まとめ(事業の総括)	売店（総合会館地階）の受託運営を行いました。
決算額	２１，６１１，９６６円
主な財源	事業収入

１．総合会館売店運営事業

	項目	内容
1	総合会館売店運営	・品揃えや仕入れの見直し等を随時行い、増収増益に努めました。

年度	営業日数（日）	年間総収入（円）	１日平均利用者数（名）	１日平均売上額（円）
令和 6	243	21,424,370	156	88,166
令和 5	243	20,227,328	176	83,240
前年度比（%）	100	106	89	106